

# NISA意向調査 2025年

## 調査結果報告<サマリー版>

2025年6月11日  
株式会社NTTデータ・エービック  
金融サービス推進部

# 2025年NISA意向調査実施概要

2024年1月から新NISA制度が開始された中、当社はNISA未利用の人たちが、この新NISAに対してどのような捉え方をしたかを知るために、2023年から継続してNISA意向調査を実施しています。

2024年夏には株式市況の暴落を経験し、NISA口座開設者の動きや、未開設者の利用意向にはどのような変化が現れたのかを知るために、昨年と同様のスキームでNISA意向調査を実施しました。

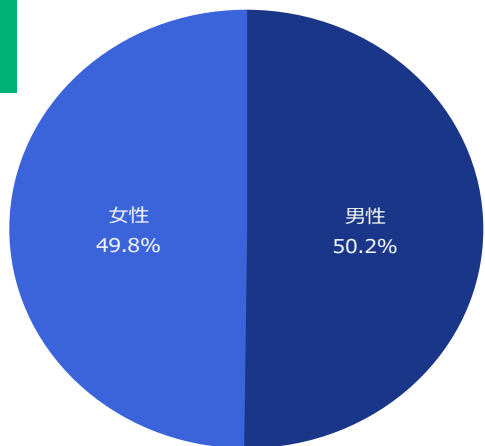
調査対象者・ サンプルサイズ	①スクリーニング調査：23,500ss 【回答者条件】 全国の18～69歳男女 47都道府県ごとに、性年代別に500ss回収 ※2020年国勢調査の結果に基づき、ウエイトバック集計を実施 ②本調査：9,400ss 【回答者条件】 全国の18～69歳男女 47都道府県ごとに、NISA口座での投資経験者を50ss、NISA口座での投資未経験者を150ss回収 ※2020年国勢調査の結果とスクリーニングデータでの出現率に基づき、ウエイトバック集計を実施
調査手法	LINEリサーチ プラットフォーム利用の調査
調査期間	2025年3月19日(水)～2025年3月24日(月) ※昨年調査 2024年1月19日（金）～2024年1月22日（月）
調査実施機関	株式会社クロス・マーケティング

# 回答者プロフィール

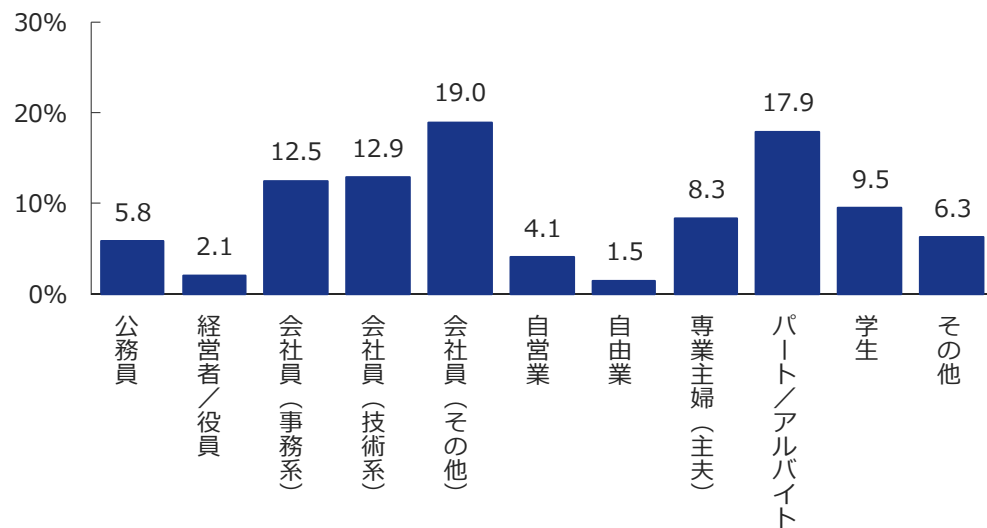
本調査の回答者プロフィールは、昨年調査とほぼ同様の母集団となり、15歳から69歳までの幅広い世代から有意なアンケート結果を回収することができました。

## 性別

N=9400

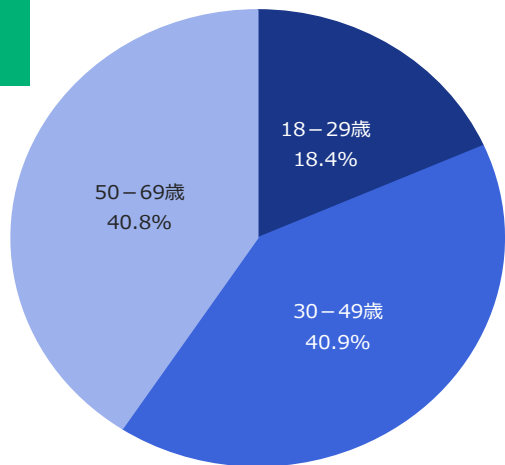


## 職業



(n=23,500)

## 年代



(n=23,500)

# 調査結果報告 ～まとめ～

## 〈NISA口座開設状況〉

2025年のNISA意向調査によると、NISAでの投資経験者は昨年の23.2%から27.2%に増加した。また、新制度導入後の2024年以降に口座を開設した層が24.0%を占め、18～29歳の若年層では男性31.2%、女性35.8%が1年以内に口座を開設している。

特に通常利用する金融機関が〈農協等〉〈地元の銀行〉〈郵便局〉の利用者は、「2024年1月以降に開設」が他金融機関と比べて高い。

NISA利用金融機関の選定理由については、メガバンクや地銀は「日ごろ利用しているから」「営業担当者を信頼している」「給与振り込みの金融機関」が高い。

ネット系証券の選定理由は「取引手数料が安い」「オンライン申し込みができる」の回答が多い。

## 〈NISA利用者のNISA口座変更経験〉

NISA利用者の10.4%が実際に金融機関を変更したと回答。「変更していないが変更したいと思ったことがある」は15.4%。これらの人の変更または変更したい理由は、「手数料など、コスト面のメリットを求めた」（31.1%）、「ネット取引の操作性や利便性を希望した」（18.8%）が上位に挙げられた。さらに、NISA口座を変更した人全体の68.6%が、現在「ネット証券、ネット銀行」を利用しており、ネット系の支持が強いことが分かる。

## 〈株式相場の大幅下落時の対応〉

2024年夏に起きた株式相場の大幅下落時におけるNISA利用者の対応については、全体の約75%が「何もしなかった」と回答。「売却した」は7.3%にとどまった。（売却したには一部売却し追加したを含む。）

ネット証券やネット銀行、証券会社利用者の中には購入した割合が高く、リスクに対する投資行動の違いがみられた。

# 調査結果報告 ～まとめ～

## 〈NISA未利用者の非利用理由とその背景〉

NISAを利用していない人の中で最も多い理由は、「NISAの仕組みが分からない」（14.6%）と「投資できる資金の余裕がない」（15.8%）であり、制度理解と経済的ハードルが主要因となっている。

また、NISAを利用するきっかけになりうること、として、「NISA制度が自分にとって役に立つと思えたら」（29.6%）。金融経済教育の面では、未利用者のうち「学んだ経験がある」は24.8%にとどまり、「学びたいが何から始めればよいか分からない」との声も多い。これは、情報の分かりやすさや教育機会の不足がNISA利用の障壁となっていることを示している。

## 〈金融経済教育について〉

金融経済教育の観点から見ると、NISA利用者と未利用者の間には明確な差が見られた。

NISA利用者のうち62.5%が「金融経済について学んだ経験がある」と回答し、とくにネット証券・ネット銀行の利用者では71.3%が学習経験を持っていた。

学習手段としては、「ネットや書籍、SNSなどでの自主的な勉強」が最も多く、自発的に情報を収集し、判断力を高める層がNISAを積極的に活用している傾向が浮かび上がった。

一方、NISA未利用者では、学習経験があると回答したのは全体の24.8%にとどまり、「何から学べばよいか分からない」という声も多く挙がっている。

NISA未利用者のち、金融経済教育経験なしは 75.2%。その中でも、金融経済教育を受ける必要がないと思っている層は少なく、「今後学びたいと思っている」、「学びたいが、何から学べばいいのかわからない」層が多い。同時に金融経済教育の経験がない人は、「あまり興味がない」割合も他に比べて高かった。

金融経済教育の経験がない層にも、「今後学びたい」とする割合が高く、NISA制度のさらなる普及において、情報提供と教育機会の拡充の必要性が高まっている。

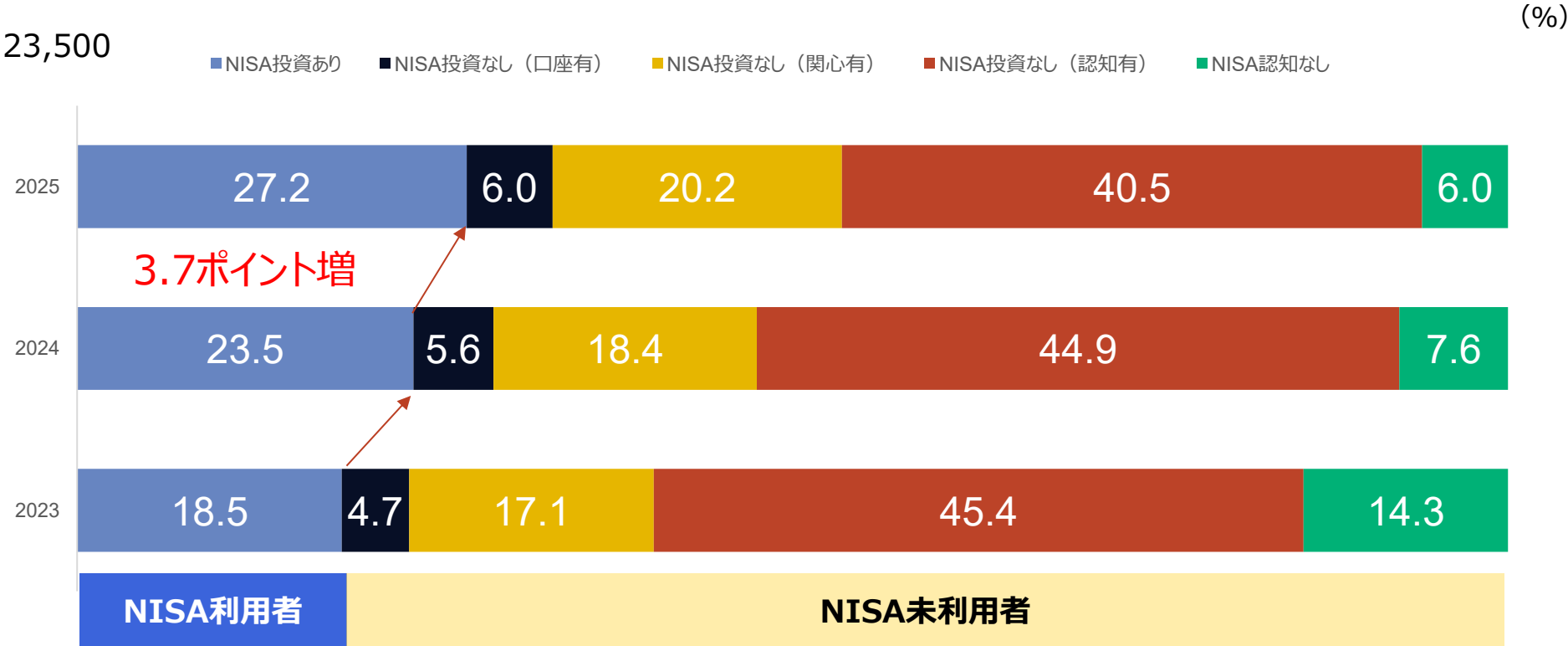
# 01

## 調査結果速報

新旧の区別なくNISA制度について、まず投資経験を確認しました。このNISA投資経験の有無により、投資経験有を「NISA利用者」、それ以外の投資経験無を「NISA未利用者」としています。

**NISA制度による投資経験有**は、全体の27.2%。前回調査の23.5%から着実に増加している。  
NISA未利用者の中で、NISAを「知らない」と回答した「NISA認知無」は、おとし14.3%、昨年7.6%今年6%と減少してきており、この1年間の金融機関のNISAプロモーション等により認知度が向上したことが分かる。

N=23,500



同じ設問についてエリア別のNISA投資経験有の比率を昨年調査と比較すると、以下の通りとなります。

NISA投資経験有の比率は、すべてのエリアで前年よりも上昇している。特に四国、九州・沖縄での増加が目立つ。一方、NISA認知無は、全国で1桁の水準に減少した。

N=23,500		NISA投資経験有 (%)	
エリア別	2024年	2025年	増減
北海道	18.3	21.0	+2.7
東北	19.1	22.8	+3.7
関東	25.8	29.0	+3.2
北陸・甲信越	21.2	25.8	+4.6
東海	23.8	27.4	+3.6
近畿	24.4	27.9	+3.5
中国	23.1	26.6	+3.5
四国	19.4	26.2	+6.8
九州・沖縄	21.0	26.7	+5.7

NISA認知無 (%)	
2024年	2025年
11.3	9.2
9.0	7.5
6.7	5.1
7.7	6.0
8.7	6.6
6.5	5.6
7.6	6.7
9.4	6.6
8.0	6.1



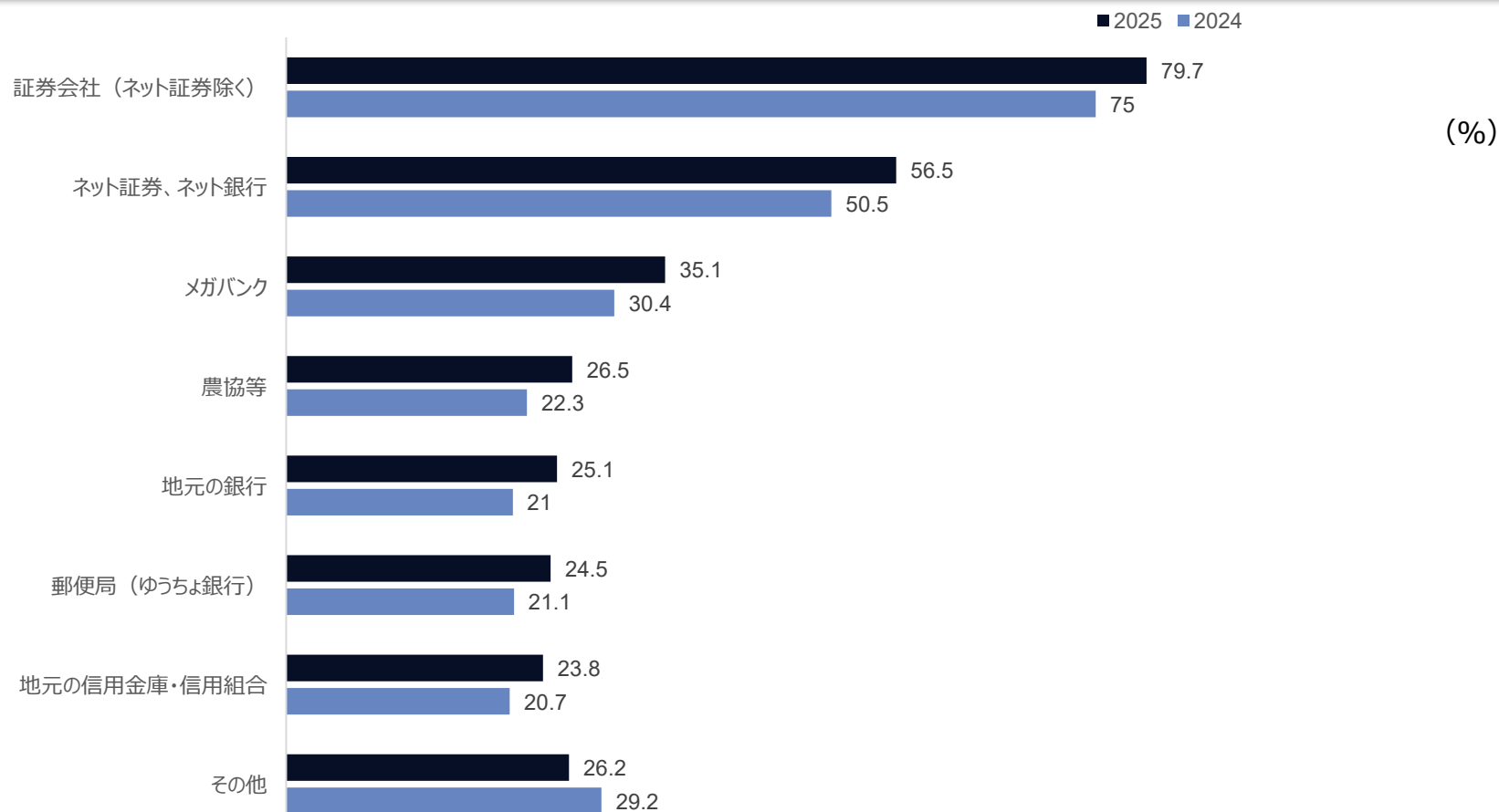
# NISA利用経験 通常利用金融機関別 -SQ1.

全員

スクリーニング調査で通常よく利用する金融機関をひとつ選んでもらっています。その通常利用金融機関別にNISA投資経験有の回答について、昨年からの変化を見ると、以下の通りとなりました。

昨年に比べ、ほぼすべての業態でNISA投資経験有が増加しているが、特に証券会社、ネット証券等を通常利用金融機関としている人のNISA利用経験有の増加が大きい。

N=23,500



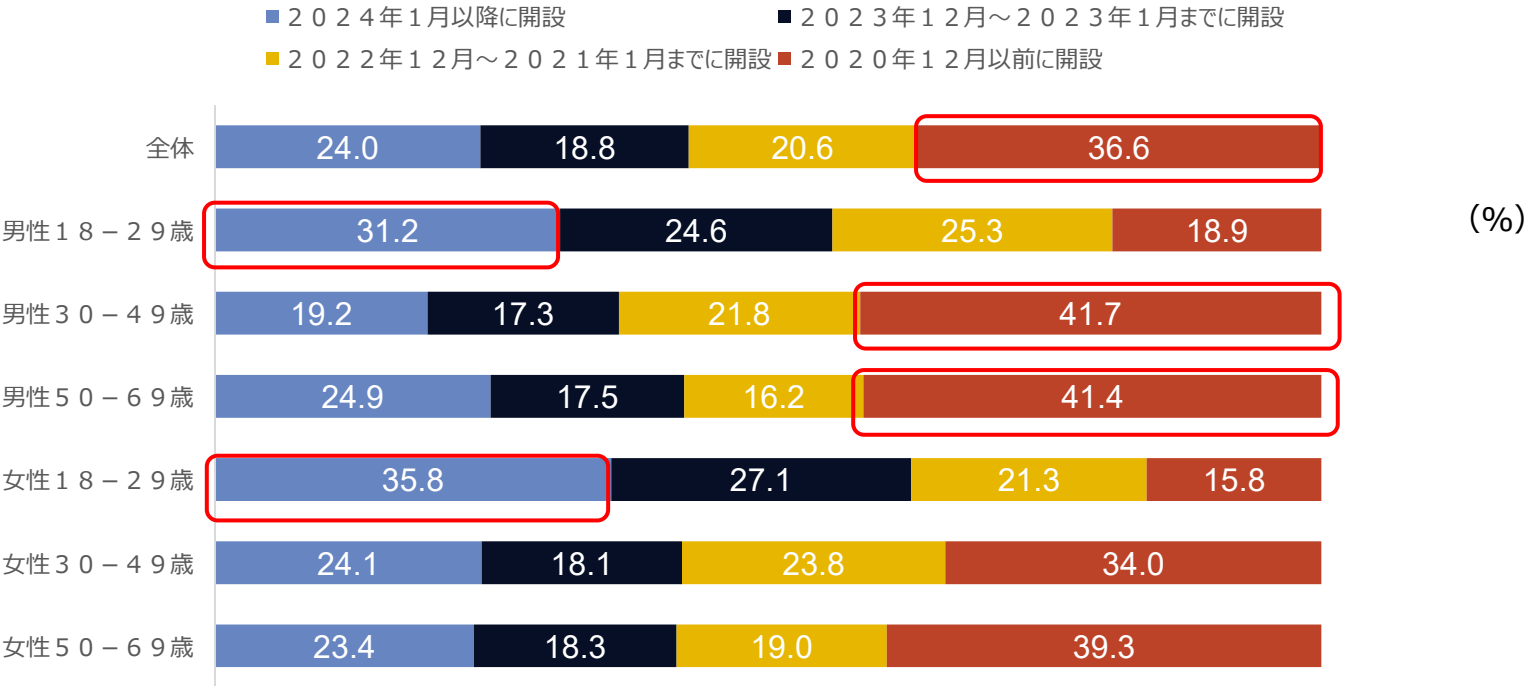
SQ1 日ごろ、よく利用している金融機関はどこですか？ ※メガバンクとは、みずほ、三菱UFJ、三井住友、りそな銀行と系列信託銀行を指します（MA）

# NISA口座開設時期 -SQ4.

前問でNISA投資経験有とNISA投資無（口座有）と回答した人に、そのNISA口座をいつ頃開設したのかを尋ねました。

NISA口座有と回答した人の36.6%が「2020年12月以前に開設」している。続いて「2024年1月以降に開設」が24.0%性別年代別に見ると男性の＜30-69歳＞は「2020年12月以前に開設」が4割以上と、早いうちから開設している。女性では年代が高いほど開設時期も早い。＜18-29歳＞の若年層は男女とも「2024年1月以降に開設」がボリュームゾーン。

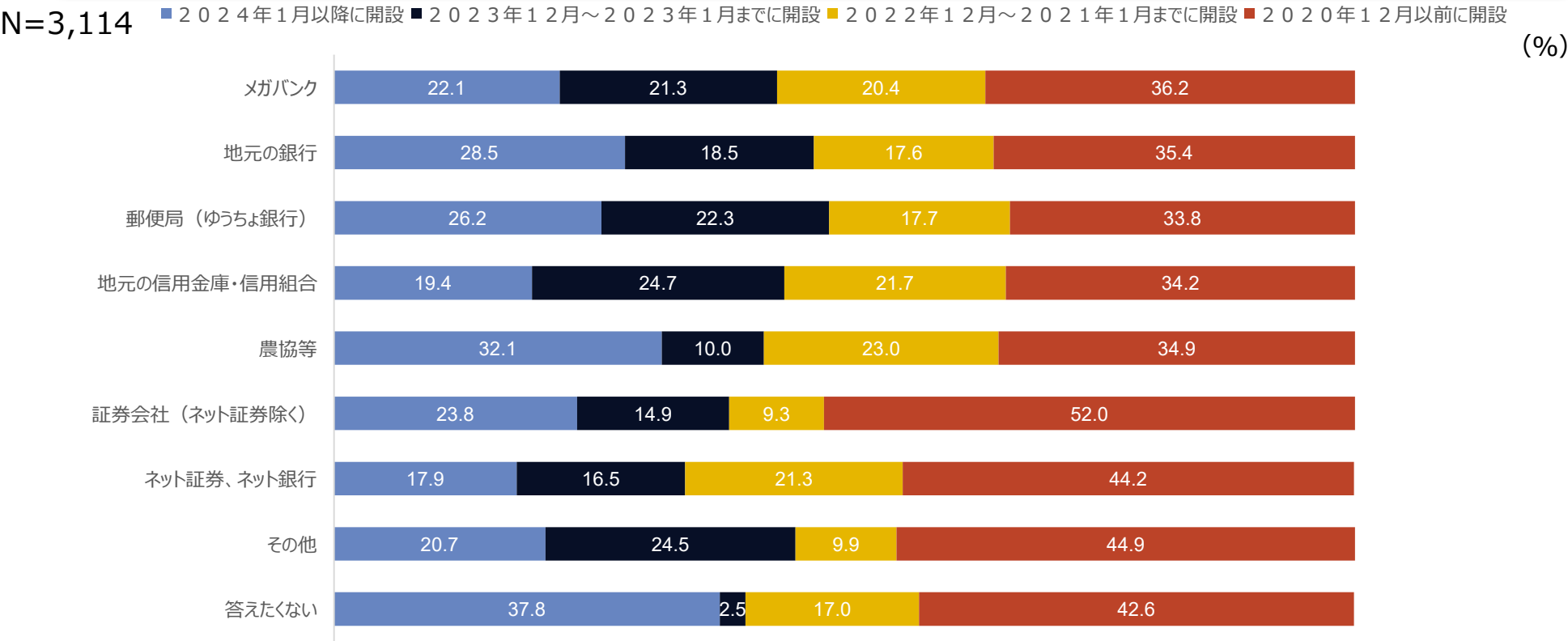
N=7,820



NISA口座開設時期 ②通常利用金融機関別 -SQ4.

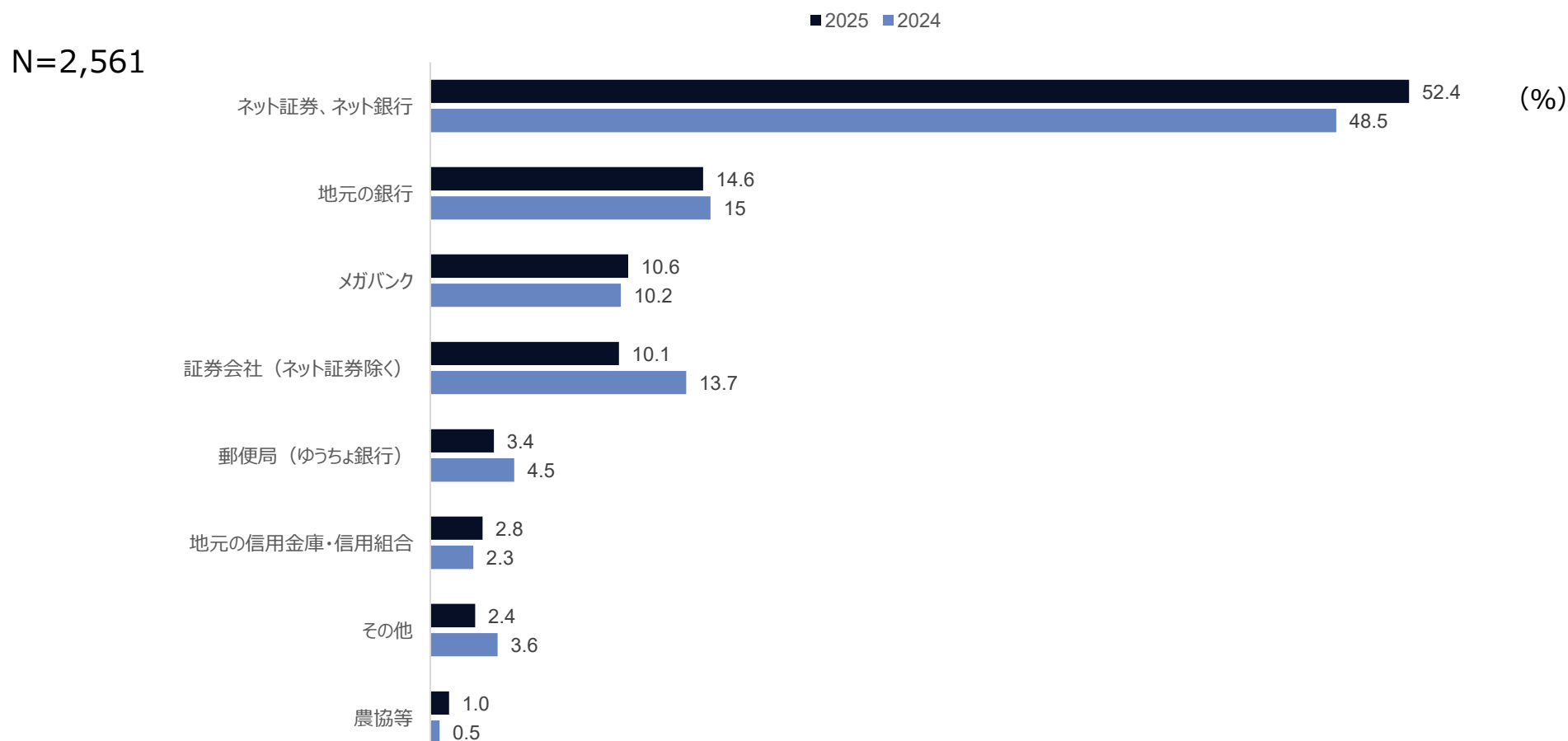
同じくNISA口座開設時期を通常利用金融機関別に分析しました。

通常利用金融機関別にみると、＜地元の銀行＞ ＜郵便局＞ ＜農協等＞ では「2024年1月以降に開設」が他金融機関と比べてやや高い。  
証券会社、ネット証券の利用者については旧NISAによる口座開設が既に進んでいたと推測される。



NISA投資経験有と回答した人にNISAをどの金融機関で利用したかを尋ねました。

NISA投資経験有のNISA利用金融機関は、ネット証券・ネット銀行が52.4%、次いで地元の銀行が14.6%、証券会社10.6%、メガバンク10.1%となった。昨年と同様NISAの利用金融機関として、ネット証券、ネット銀行が圧倒的に利用されている。上位3つの金融機関が8割弱を占めている。



NISA利用金融機関について、通常利用金融機関による比較を行いました。

下表で「同じ業態」とした数値は、たとえば、通常利用金融機関で「メガバンク」と答えた人がNISA利用金融機関においても「メガバンク」と答えた人の数値です。

異なる業態でNISAを利用した場合として「ネット証券」の回答と比較してみました。

N=2,561 通常利用金融機関	NISA利用金融機関 (%)		
	同じ業態	ネット証券	差分
メガバンク	23.2	55.9	-32.7
地元の銀行	30.3	43.8	-13.5
郵便局（ゆうちょ銀行）	7.3	47.2	-39.9
地元の信用金庫・信用組合	18.0	35.6	-17.6
農協等	12.4	43.1	-30.7
証券会社	27.1	57.8	-30.7
ネット証券・ネット銀行	79.6	79.6	0
その他	11.1	39.1	-28

前頁でNISA利用金融機関は、ネット証券・ネット銀行が52.4%と最も多かった。

NISAを通常利用金融機関とは別に「ネット証券」で利用した回答から「同じ業態」の回答を引いたものが左表の「差分」となる。

この「差分」を見ると、通常利用金融機関で郵便局、メガバンク、農協、証券会社を通常利用している層で、NISA口座は「ネット証券、ネット銀行」を使用している層が増加している。

# NISA利用金融機関の選定理由 -Q2.

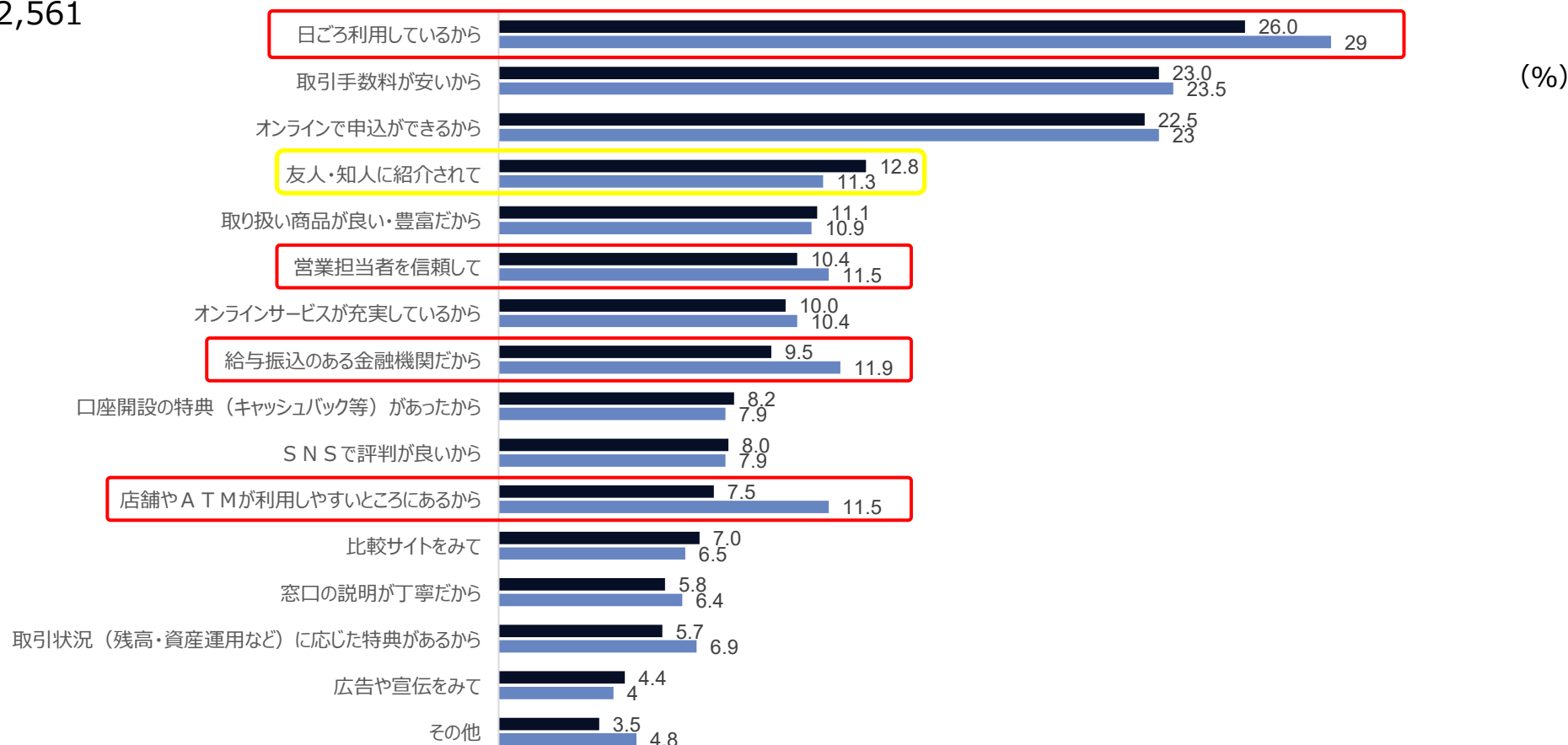
NISA利用者

NISA投資経験有と回答した人にその金融機関を選んだ理由を尋ねました。

利便性や親しみのある金融機関を選ぶ傾向は、変わらないが、昨年より選定理由とした回答が減少。  
前年から新たにNISAを始めた人は、家族、知人、友人の影響により、ネット証券を選択した可能性が高い。

N=2,561

■ 2025 ■ 2024



Q 2 前の質問でお答えになった金融機関を選んだ理由を教えてください。(M A)

NISA利用金融機関の選定理由 NISA利用金融機関別

-Q2.  
選定理由について10%以上の回答のあった選択肢をNISA利用金融機関別に分析します。

ネット証券では「取引手数料が安い」、「オンライン申込ができる」の回答が特に高い一方で、銀行等の金融機関では「給与振込」、「日ごろから利用」、「営業担当者を信頼」の回答が高い。オンラインサービスが充実、取扱商品が良い、豊富は選定理由としては上位に入らなかった。

NISA利用金融機関 N=2,561	日ごろから利用	取引手数料が安い	オンライン申込ができる	友人・知人の紹介	取扱い商品が良い・豊富	営業担当者を信頼して	オンラインサービスが充実	給与振込がある	口座開設の特典があった	SNSで評判がよいので	店舗やATMが利用しやすい	(%)
メガバンク	37.7	1.5	13.9	5.6	3.7	15.6	2.8	26.3	5.3	3.9	18.8	
地元の銀行	46.4	1.0	3.2	9.8	1.8	27.4	1.9	30.8	3.7	1.0	16.8	
郵便局（ゆうちょ銀行）	35.1	4.5	7.2	9.3	2.4	16.6	2.5	10.6	0.7	5.8	18.5	
地元の信用金庫・信用組合	32.8	1.9	1.3	10.8	0.0	49.9	0.0	13.2	3.2	0.0	14.3	
農協等	18.1	0.0	0.0	8.6	0.0	23.6	0.0	23.1	15.0	0.0	8.1	
証券会社（ネット証券除く）	27.2	11.0	14.4	17.3	10.6	14.4	9.6	2.9	6.5	6.2	3.4	
ネット証券、ネット銀行	17.2	40.6	34.2	15.4	17.5	1.4	15.5	1.3	11.4	12.3	2.6	
その他	12.0	1.8	18.9	10.1	5.8	12.0	11.1	3.9	7.3	2.4	9.8	

N I S A口座で保有している金融商品のうち、2 0 2 4 年  
1 月以降に購入したものおよび購入予定のものを選んでください。 -Q3.

- 証券会社（ネット証券除く）とネット証券・ネット銀行は、国内株式の購入率が高く（55.8%、49.4%）  
「主に株式に投資する投資信託」や「ETF・REIT」も他より高め。
- 農協等は「海外株式」の比率（77.6%）が非常に高い一方で、それ以外の商品選択は全般的に低い。
- 郵便局（ゆうちょ銀行）は「バランス型投信」（37.2%）に特化している印象。
- ネット証券・ネット銀行では、今後の購入予定でも「国内株式」「主に株式に投資する投資信託」（21.9%）と「ETF・REIT」（7.1%）が高く、投資意欲が感じられる層が多いと予測される。

N=2,205

	購入した							購入予定							その他
	国内株式	海外株式	主に債券に投資する投資信託	債券と株式にバランスよく投資する投資信託	主に株式に投資する投資信託	ETF・REIT	購入したものその他	国内株式	海外株式	主に債券に投資する投資信託	債券と株式にバランスよく投資する投資信託	主に株式に投資する投資信託	ETF・REIT	購入したものその他	あてはまるものはない・答えたくない
メガバンク	39.1	30.9	5.5	17.3	19.5	1.4	1.5	17.9	15.4	4	11.4	8.3	1.6	3.2	13.9
地元の銀行	32.8	35.4	9.3	20.2	13.3	3.5	4.6	10.7	11.8	2.4	8.7	6.3	0.6	3.2	17.1
郵便局（ゆうちょ銀行）	22.9	33.1	3.2	37.2	8.2	1.9	0.9	5.9	9.3	4.1	17.4	4.2	0	3.3	18.5
地元の信用金庫・信用組合	50.1	29.4	7.3	20.4	17.6	0.6	1.9	7	5.3	1.1	4.5	3.9	0	0.8	16.3
農協等	31.4	77.6	0	2.8	6.4	0	1.9	16.4	20.3	0	4.6	5.1	0	0	9.7
証券会社（ネット証券除く）	55.8	24.2	17.4	21	23.4	4.4	1.1	34.4	16.2	8.3	14.9	11.7	3.3	0.7	14.7
ネット証券、ネット銀行	49.4	30.5	5.3	19.4	36	7.3	1.7	34.7	18	4.9	12	21.9	7.1	0.8	7.9
その他	35.3	31.8	1	14.6	9.8	2.2	6	17	7.2	0.5	6.9	5.9	4.4	8.5	20.9
答えたくない	28.8	32.6	5	8	2.4	0.7	0	10.5	7.2	1.9	1.4	0.8	0	1.4	47.9



NISAをはじめるきっかけ NISA利用金融機関別 -Q4.

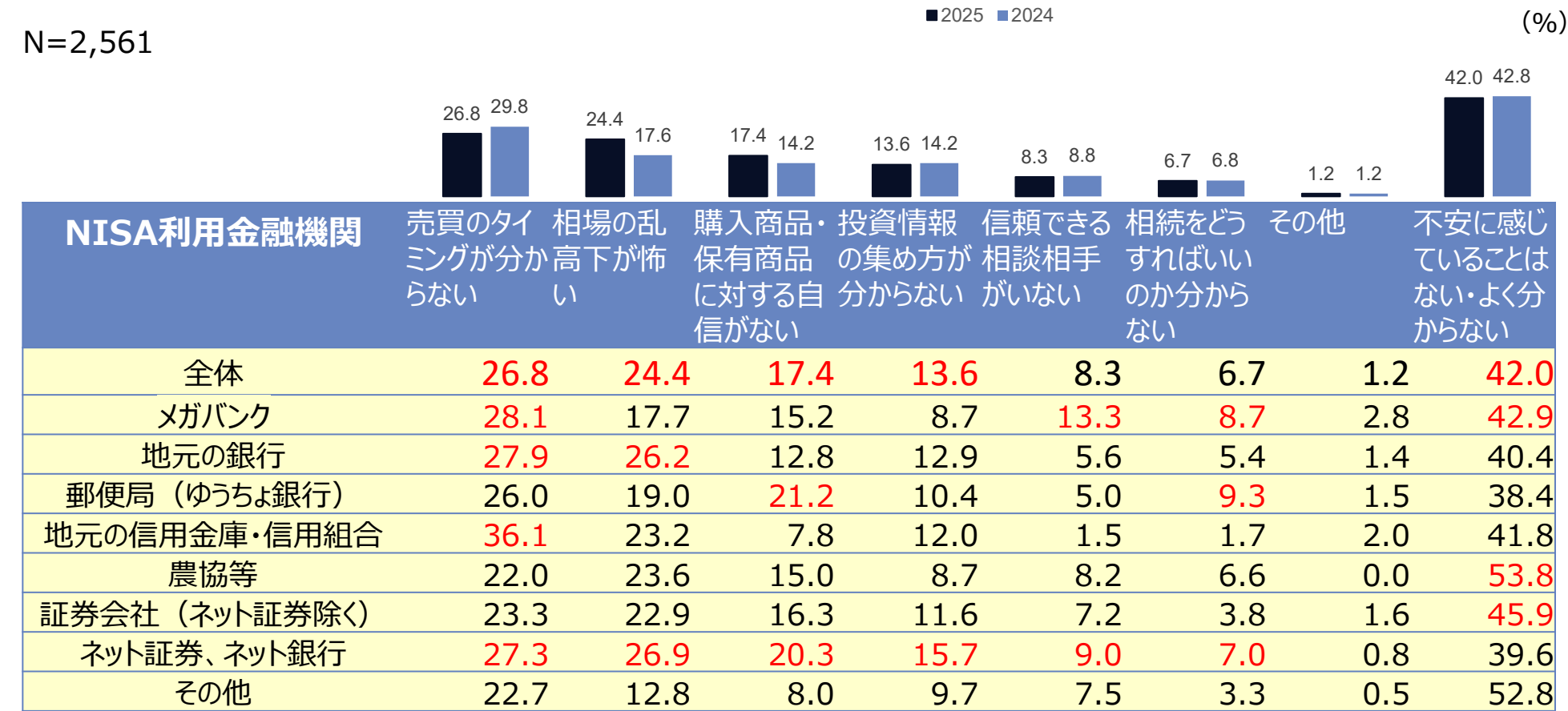
NISA投資経験有と回答した人に「NISAをはじめるきっかけとなったもの」を尋ねました。

NISA利用金融機関別には、ネット証券が「インターネット情報サイト」32.0%、地元の銀行、ゆうちょ、信金・信組、農協等は「金融機関の担当者」が圧倒的に高くなった。

N=2,561	金融機関の担当者	家族・友人・知人	とくにない	インターネットの情報サイト	テレビ・ラジオ	YouTube	新聞・雑誌	金融機関のHP	その他	インターネット（旧Twitter）	Instagram	(%)
メガバンク	39.8	23.6	14.3	8.0	15.0	9.6	4.5	2.5	7.2	4.7	3.4	
地元の銀行	56.1	33.2	7.1	6.3	11.7	1.1	5.6	3.3	2.0	1.0	0.6	
郵便局（ゆうちょ銀行）	50.6	24.4	13.9	10.1	9.3	7.8	5.4	6.6	1.9	2.2	0.4	
地元の信用金庫・信用組合	61.5	27.1	5.5	5.3	11.8	0.0	0.5	2.4	4.5	2.4	3.0	
農協等	36.5	31.3	4.0	13.6	13.8	1.5	5.9	0.0	15.5	6.1	0.0	
証券会社（ネット証券除く）	25.0	26.2	11.8	18.0	17.6	8.4	12.8	13.3	1.2	4.3	4.7	
ネット証券、ネット銀行	3.4	37.4	13.6	32.0	15.0	13.2	8.4	6.0	1.6	5.0	7.1	
その他	21.9	29.3	30.9	13.8	6.4	2.6	0.0	1.7	0.5	0.0	1.5	
答えたくない	16.5	30.7	49.1	4.2	2.0	2.4	1.2	0.5	0.5	0.0	0.0	

NISA投資経験有と回答した人にNISA口座開設後に不安に感じていることを尋ねました。

全体では、「売買タイミング」26.8%、「相場の乱高下」24.4%、「保有商品が不安」が17.4%、「投資情報の収集」13.6ととなった一方で、「不安なし・分からない」の回答が42.0%もあった。  
NISA利用金融機関別には、下表のとおり、業態別の特徴が表れた結果となった。



前問でNISA口座開設後に不安に感じていると回答した人に不安を解消するために、あれば良いと思うことを尋ねました。

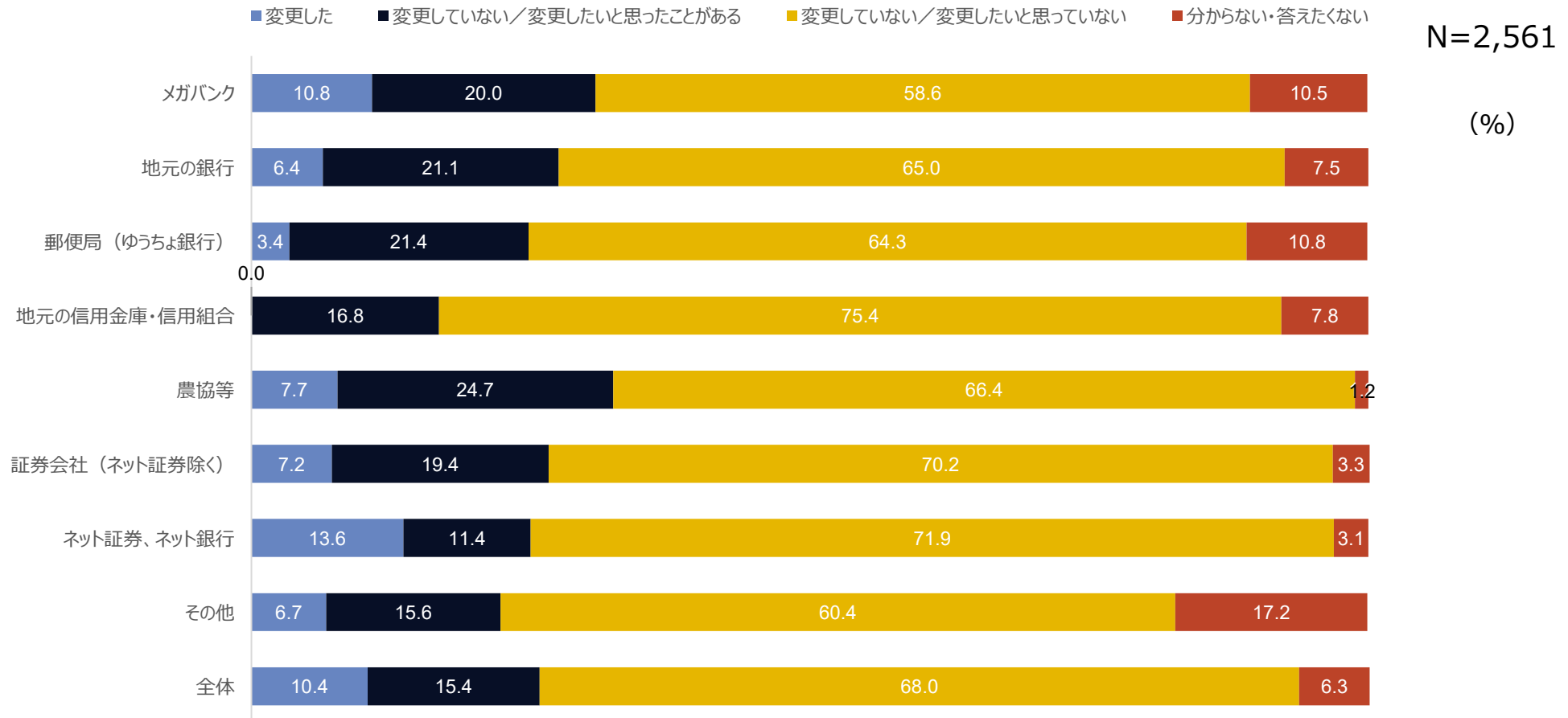
NISA利用金融機関別にみると、＜ネット証券・ネット銀行＞では「投資に関する自主的な勉強」(52.2%)が高い。

NISA利用金融機関 N=1,486	投資に関する自主的な勉強	金融機関などの担当者からの、適切な情報提供	金融機関などの担当者からの、資産運用アドバイス	金融機関などの担当者いつでも相談できる環境	金融機関などの担当者からの、保有資産に対する定期的なフォロー	YouTubeやメディアからの、適切な情報提供	勉強会・セミナーへの参加	その他 (%)
全体合計	42.6	28.0	26.0	23.5	23.3	22.3	17.2	0.4
メガバンク	37.2	28.8	23.1	25.0	29.5	17.1	18.5	1.0
地元の銀行	25.1	41.2	36.2	34.7	32.2	13.5	12.3	0.3
郵便局（ゆうちょ銀行）	26.6	43.8	47.2	22.3	39.6	9.0	12.2	0.0
地元の信用金庫・信用組合	19.8	35.1	27.8	22.6	43.9	13.2	8.3	0.0
農協等	25.5	63.2	33.2	38.6	28.6	19.1	12.7	0.0
証券会社（ネット証券除く）	39.9	28.2	31.5	26.3	30.9	11.6	23.5	0.5
ネット証券、ネット銀行	52.2	22.4	21.8	20.2	17.0	29.7	17.6	0.4

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示。

## NISA口座変更経験-Q7.NISA利用金融機関別

- 回答者全体の1割が変更し、9割近くが変更しておらず、7割は変更の意向もない。



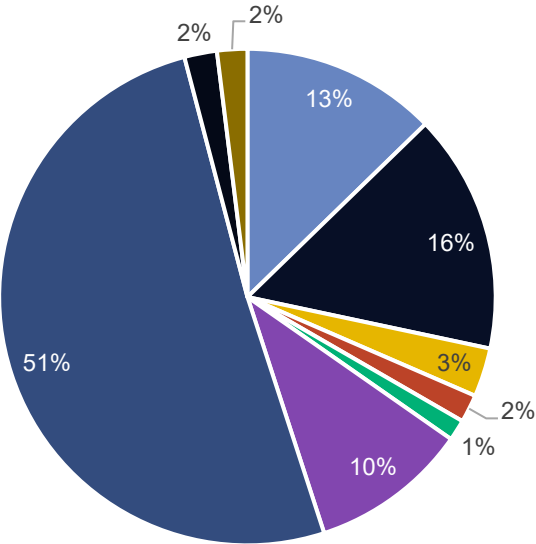
Q7 NISA口座を開設している金融機関を変えたことがありますか。(SA)

【NISA口座変更】NISA利用希望金融機関先へ、変更した理由、  
変更したい理由-Q9.

・ネット証券に変更したいと希望する人が51%と圧倒的に多かった。次いで証券会社（ネット証券除く）、地元の銀行と続く。  
・回答者全体の変更理由は「手数料など、コスト面のメリットを求めた」(31.1%)が最も高い。次いで「ネット取引の操作性や利便性を希望」(18.8%)と続く。

変更希望先

- メガバンク
- 郵便局（ゆうちょ銀行）
- 農協等
- ネット証券、ネット銀行
- 答えたくない
- 地元の銀行
- 地元の信用金庫・信用組合
- 証券会社（ネット証券除く）
- その他



N=660  
(%)

		投資商品の品揃えが充実している口座を希望	手数料など、コスト面のメリットを求めた	顧客サポートやサービス内容に不満があった	ネット取引の操作性や利便性を希望	既存口座の使い勝手や管理方法に不満があった	ライフステージが変化し、資産運用を見直す必要があった	複数の金融商品を一元管理したかった	金融機関の信頼性や安定性に対する評価が変わった	キャンペーンや特典など、魅力的なオファーを提供された	友人・知人・家族に勧められた	店舗の立地が不便だった	その他	答えたくない
	全 体	13.3	31.1	7.3	18.8	7.6	6.7	7.5	6.1	15.2	9.7	6.5	6.4	12.0
NISA利用金融機関別	メガバンク	10.1	8.6	10.8	12.9	12.4	5.2	11.6	9.8	16.4	18.0	14.3	3.1	20.2
	地元の銀行	12.0	39.5	9.9	11.8	4.5	5.7	5.5	9.5	10.7	12.1	7.4	1.7	11.4
	郵便局（ゆうちょ銀行）	19.9	23.2	10.4	9.2	3.1	4.9	3.5	5.9	41.0	22.4	2.2	1.7	7.7
	地元の信用金庫・信用組合	17.1	11.2	8.5	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	8.0	27.2	0.0
	農協等	0.0	46.8	12.0	17.5	0.0	0.0	8.9	21.3	9.4	15.5	12.0	0.0	8.1
	証券会社（ネット証券除く）	15.9	36.4	17.3	24.9	3.2	11.1	5.2	3.7	13.1	4.9	8.2	4.3	11.3
	ネット証券 ネット銀行	13.6	34.5	2.8	22.6	9.6	6.5	8.0	5.0	16.3	6.8	4.0	8.6	10.5
	その他	24.5	20.1	0.0	2.3	0.0	0.0	13.8	0.0	12.8	0.0	12.6	16.2	0.0

Q9 NISA口座を変更した、もしくは変更したいと思った理由を教えてください。(MA)【NISA口座変更意向者ベース】

# NISA口座変更前金融機関別のNISA現利用金融機関-Q1. Q8

- NISA口座変更前金融機関別に現在のNISA利用金融機関のスコアをみると、口座変更者の68.6%が「ネット証券、ネット銀行」へ変更している。  
＜地元の銀行＞では41.8%が、＜証券会社(ネット証券除く)＞ ＜ネット証券、ネット銀行＞では7割以上が、「ネット証券、ネット銀行」へ変更した様子が伺われる。
- ＜地元の銀行＞では、31.7%が「地元の銀行」内で変更しており、＜ネット証券、ネット銀行＞は8割以上が「ネット証券、ネット銀行」内で変更。

(%)

		N=266	NISA利用金融機関（現在利用金融機関）							
			メガバンク	地元の銀行	郵便局（ゆうちょ銀行）	地元の信用金庫・信用組合	農協等	証券会社（ネット証券除く）	ネット証券、ネット銀行	その他
NISA口座変更前 金融機関	NISA口座変更者全体	<div><div></div></div> 11.1	<div><div></div></div> 9	<div><div></div></div> 1.1		<div><div></div></div> 0.8	<div><div></div></div> 7	<div><div></div></div> 68.6	<div><div></div></div> 1.6	<div><div></div></div> 0.9
	メガバンク	<div><div></div></div> 4	<div><div></div></div> 3.6				<div><div></div></div> 1	<div><div></div></div> 88.7	<div><div></div></div> 2.7	
	地元の銀行	<div><div></div></div> 9.5	<div><div></div></div> 31.7	<div><div></div></div> 1.1		<div><div></div></div> 2.1	<div><div></div></div> 10.5	<div><div></div></div> 41.8	<div><div></div></div> 1.7	<div><div></div></div> 1.6
	郵便局（ゆうちょ銀行）			<div><div></div></div> 5.9				<div><div></div></div> 78.4	<div><div></div></div> 15.6	
	地元の信用金庫・信用組合		<div><div></div></div> 25.2					<div><div></div></div> 74.8		
	農協等							<div><div></div></div> 100		
	証券会社（ネット証券除く）	<div><div></div></div> 13.3	<div><div></div></div> 2.8	<div><div></div></div> 1.2		<div><div></div></div>	<div><div></div></div> 10.5	<div><div></div></div> 71.5	<div><div></div></div> 0.7	
	ネット証券、ネット銀行	<div><div></div></div> 8.1	<div><div></div></div> 2.6	<div><div></div></div> 0.6		<div><div></div></div> 1.1	<div><div></div></div> 5.5	<div><div></div></div> 81.6	<div><div></div></div> 0.4	
	その他	<div><div></div></div> 28.4	<div><div></div></div> 4.4	<div><div></div></div> 6.4				<div><div></div></div> 52.3	<div><div></div></div> 8.5	
	答えたくない	<div><div></div></div> 50.8	<div><div></div></div> 16.3				<div><div></div></div> 13.8			<div><div></div></div> 19.1

※ n = 30未満は参考値のため灰色

Q1\_1 NISAは、どの金融機関で利用していますか？／金融機関名(種別)(SA)  
Q8\_1 NISA口座を変更した人は、変更する前の金融機関を回答ください。※複数回変更した場合は、直近変更時の前の金融機関について教えてください。(SA)  
【NISA口座変更者ベース】

金融経済教育経験(利用者) -Q10.

- 回答者全体でみると62.5%が学んだ経験があり、【学んだ経験あり】では、「自分でネットや書籍、SNSなどで勉強した」が4割以上。  
次いで「友人や家族から学んだ」(15.3%)が続く。
- NISA利用金融機関別に見たとき、ネット証券は「学んだ経験があり」が71.3%と非常に高くなっている。  
ついで証券会社60.2%メガバンク56.9%地元の銀行49.7%となる。

NISA利用金融機関	自分でネットや書籍、SNSなどで勉強した	友人や家族から学んだ	金融機関のセミナーや担当者から学んだ	自分で講座などを受講して勉強した	職場・アルバイト先で受講する機会があった	学校教育のなかで受けた	今後学びたいと思っている	学びたいが何から学べばいいかわからない	金融経済教育を受ける必要がないと思っている	学んだ経験あり・計	学んだ経験なし・計	(%)
N=2,561												
全体	40.7	15.3	12.1	7.9	5.3	1.7	14.6	13.2	9.7	62.5	37.5	
メガバンク	27.6	12.1	18.1	10.9	8.4	0.7	19.4	10.7	13	56.9	43.1	
地元の銀行	18.3	14.8	16.9	5.7	4.9	4	20.9	19.6	9.8	49.7	50.3	
郵便局(ゆうちょ銀行)	21.5	8.1	14	6	5.4	1.8	16.6	27.3	11.8	44.3	55.7	
地元の信用金庫・信用組合	18.1	19.8	19.5	6.9	12.1	4.6	7.5	30.1	4.6	57.9	42.1	
農協等	16	10.3	9.4	5.9	18.5		12.5	24.9	8.3	54.2	45.8	
証券会社(ネット証券除く)	32.3	12.8	16.9	10.2	5.7	0.6	13.1	12.6	14.1	60.2	39.8	
ネット証券、ネット銀行	56.1	17.1	8.7	8.2	4.3	1.4	12	9.4	7.3	71.3	28.7	
その他	21.1	11.9	13	2.7	4.6	0.6	23.2	23.6	8.8	44.3	55.7	

## 株式相場大幅下落時の対応（通常利用金融機関別） -Q11.

- 回答者全体でみると、「何もしなかった」が7割半ば。「売却した・計」では7.3%、「購入した・計」では14.2%。
- 通常利用金融機関別にみると、「購入した・計」では＜ネット証券・ネット銀行＞が高い。



Q11 2024年8月、株式相場が大幅下落した際のNISAについての対応を教えてください。※2025年8月にNISAを始めていなかった方は「何もしなかった」をお選びください。(SA)



# 株式相場大幅下落時の対応（金融経済教育経験別） -Q11.

- 株式相場下落時の実際の行動を金融経済教育の有無でみると、学んだ経験なしよりも学んだ経験ありの方が「追加で投資した」が高くなっている。一方で「何もしなかった」、学んだ経験ありの方が低くなっている。
- だが、多くの場合が「何もしなかった」と回答しており、金融経済教育を受けたため、長期投資の観点から急いだ動きを取らなかったという可能性もある。

N=2,561

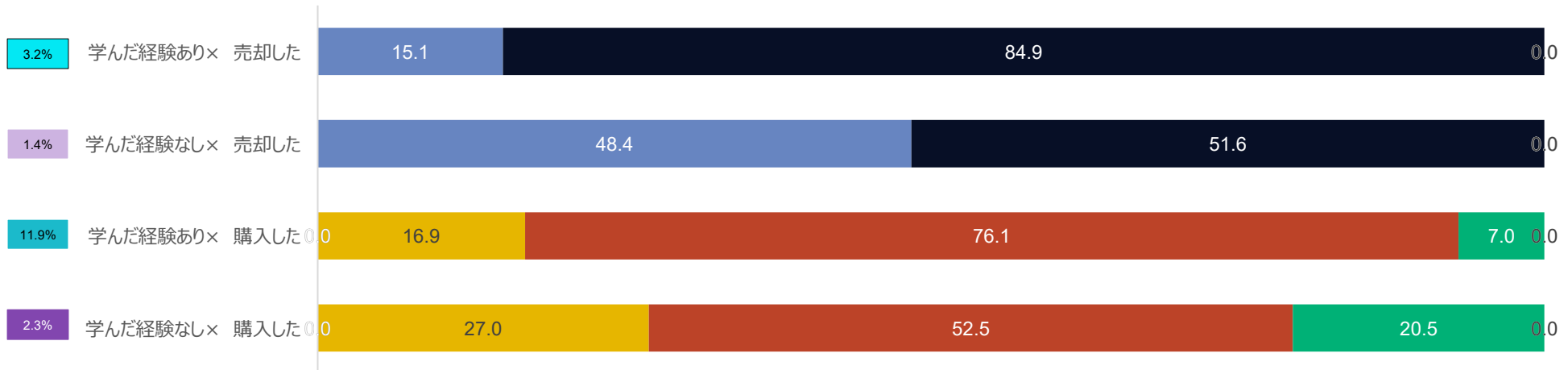
■ 学んだ経験あり× 売却した    ■ 学んだ経験あり× 購入した    ■ 学んだ経験あり× 何もしなかった  
 ■ 学んだ経験なし× 売却した    ■ 学んだ経験なし× 購入した    ■ 学んだ経験なし× 何もしなかった

(%)

〈全体〉



■ 全部売却した    ■ 一部売却した    ■ 一部売却し、一部追加した    ■ 追加で投資した    ■ 銘柄を変更した    ■ 何もしなかった    ■ 答えたくない



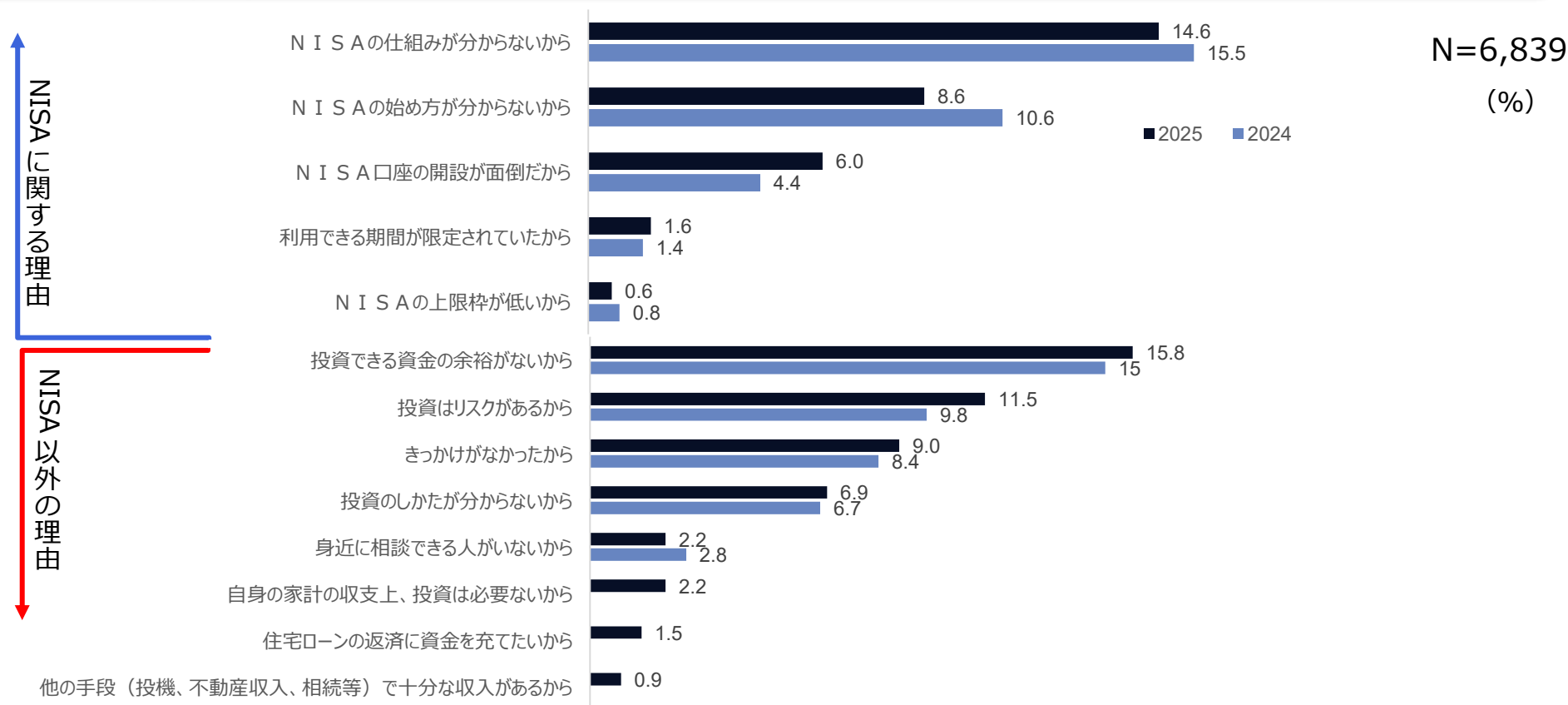
Q11 2024年8月、株式相場が大幅下落した際のNISAについての対応を教えてください。※2025年8月にNISAを始めていなかった方は「何もしなかった」をお選びください。(SA)

## NISA未利用理由 -Q12.

NISA未利用者

ここからNISA投資経験なしと回答した人に、NISAを利用しない理由を尋ねました。

NISAを利用しない理由は、概ね昨年の結果から大きな変化は見られなかった。  
NISAに関する理由としては、「NISAの仕組みが分からない」が14.6%と最も多く、NISA以外の理由では「投資できる資金の余裕がない」が15.8%となった。NISAに対する認知は上がったが、利用しない人は利用しない。

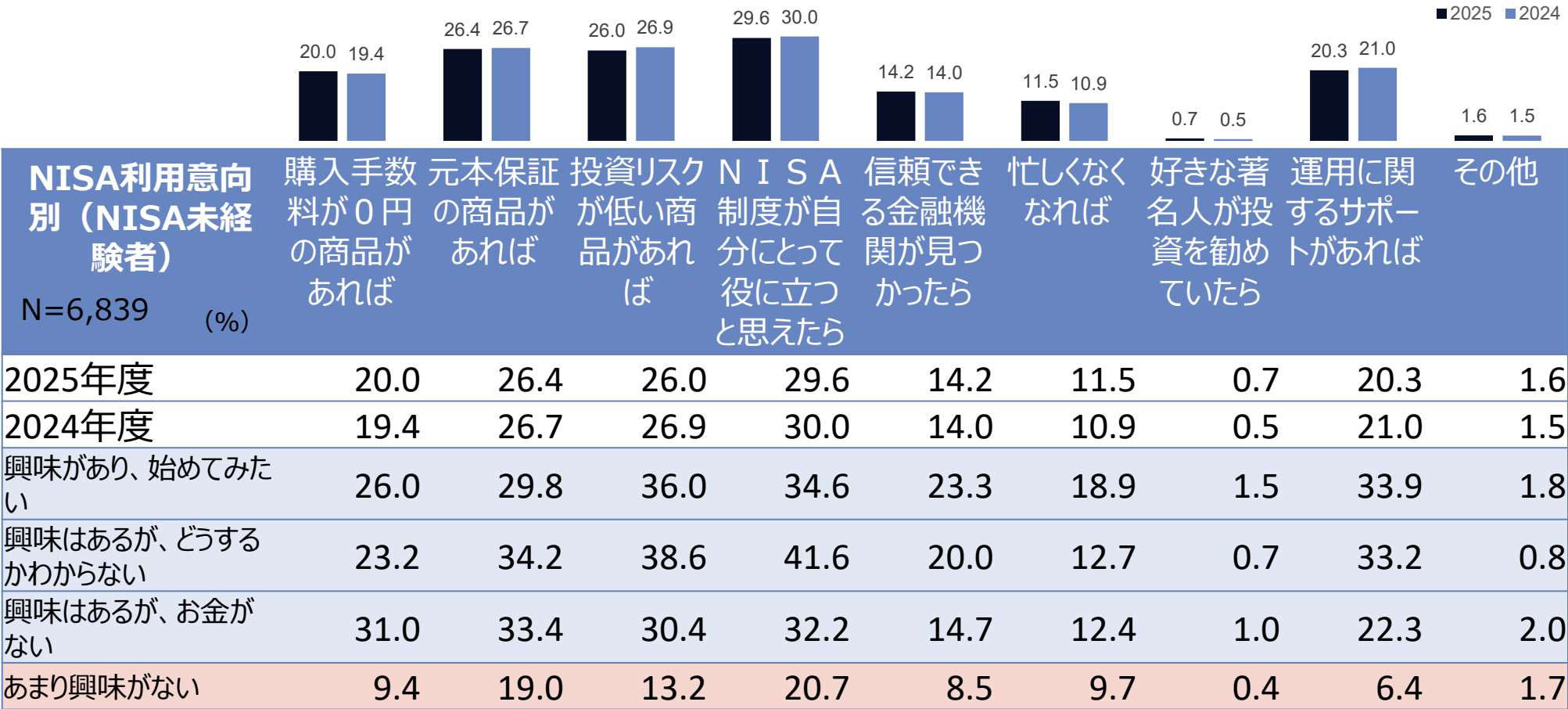


NISA利用のきっかけになりうること NISA利用意向別 -Q13.

NISA未利用者

NISA投資経験なしと回答した人にNISA投資を検討するきっかけとなりそうなことを尋ねてみました。

回答をNISA利用意向別に見ると、NISAに「興味があり、始めてみたい」と回答した人は、「NISA制度が自分にとって役に立つと思えたら」が39.1%と高く、他の「興味はある」と回答した人でも、NISA制度の理解がNISA利用のきっかけとなることになりうることを示している。



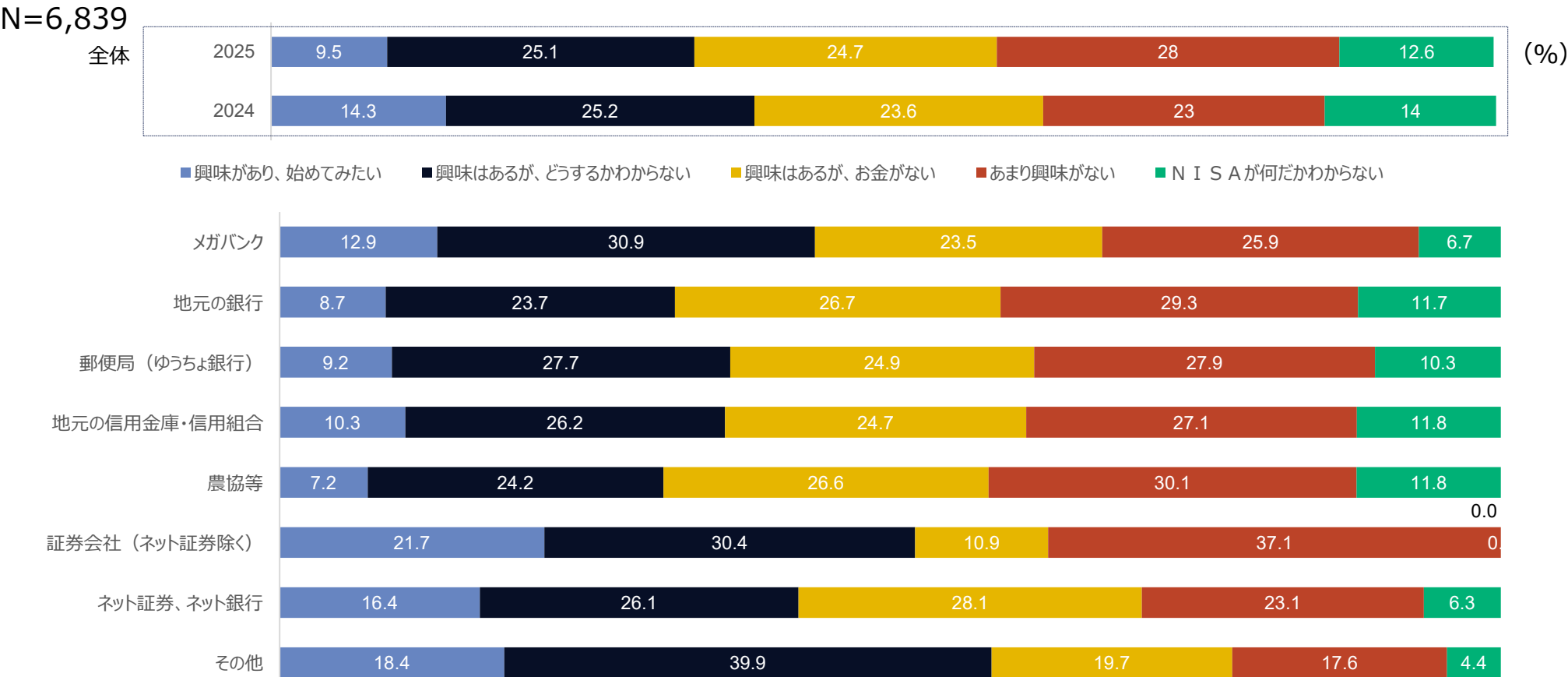
Q 1 3 以下の中で、N I S Aでの投資を検討するきっかけになるものはありますか。( M A )

# 新NISA開始の反応 通常利用金融機関別 -Q14.

NISA未利用者

NISA投資経験なしと回答した人に「2024年から開始した新NISAの考え」を尋ねてみました。

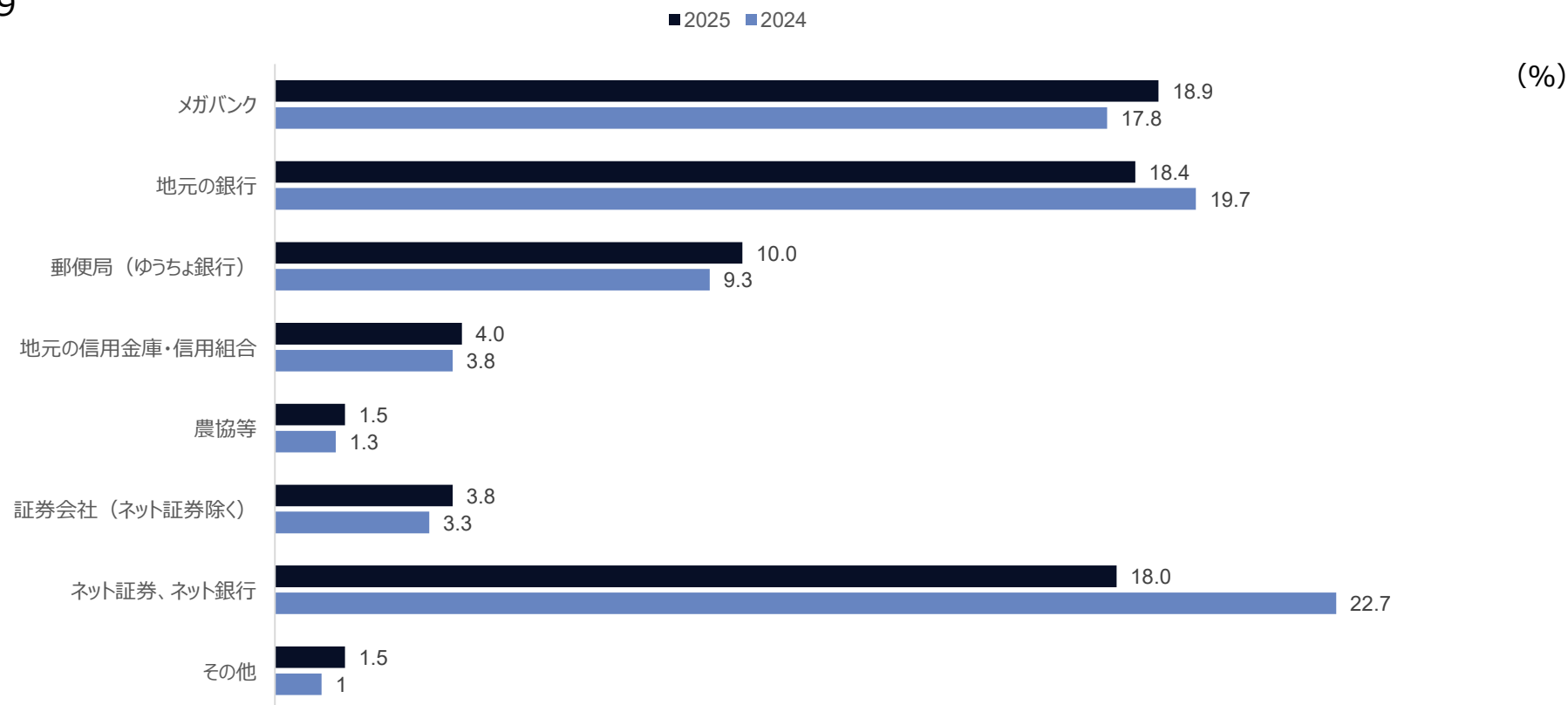
新NISAを「興味はあり、始めてみたい」が合計全体で9.5%、「興味はあるが、どうするかわからない」が25.1%、「興味はあるが、お金がない」が24.7%だった。  
昨年にくらべ「興味があり」が減っている。つまり昨年から実際に始めた人がいたので減ったと考えられる。



NISA投資経験なしと回答した人の内、NISAに興味があると回答した人に、NISAを利用するならば、どこの金融機関を利用したいかを尋ねました。

- 回答者全体では前回トップの「ネット証券、ネット銀行」が減少し、「メガバンク」、「地元の銀行」、「ネット証券、ネット銀行」が18%台で並んだ。
- 通常利用金融機関別では、通常利用している金融機関でNISAを利用したいとする意向がみられる。

N=4,059

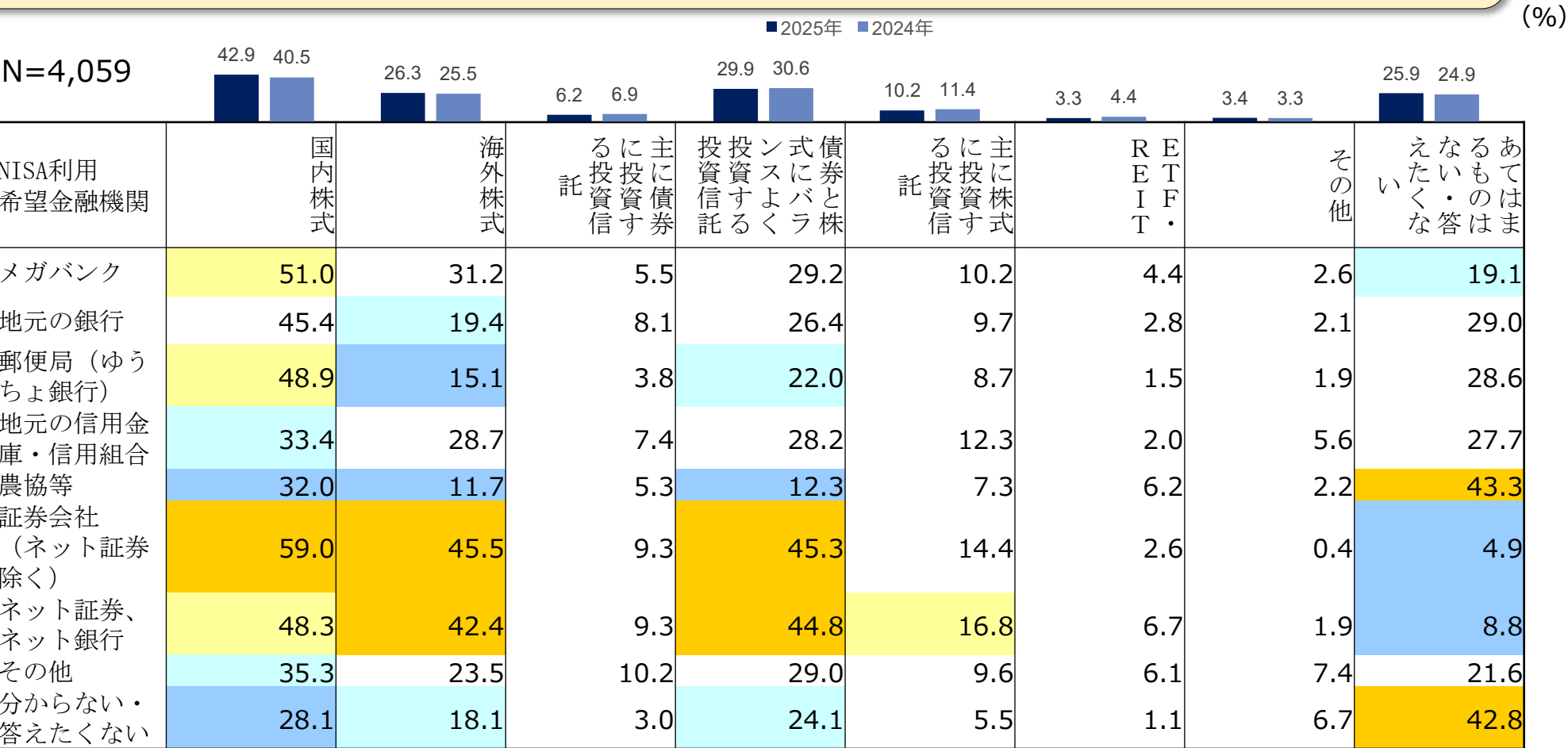


NISAで購入してみたい金融商品 NISA利用希望金融機関別  
-Q15.

NISA未利用者

前頁に続き、NISA投資経験なしでNISAに興味があると回答した人に、NISAで投資をする場合、どのような金融商品を購入してみたいかを尋ねました。

証券会社やネット証券を利用したいと回答した約半数がで国内株式を選択、通常利用金融機関がメガバンクや農協等、ゆうちょ銀行、信用金庫等でも国内株式の回答が投資信託よりも高くなっている。



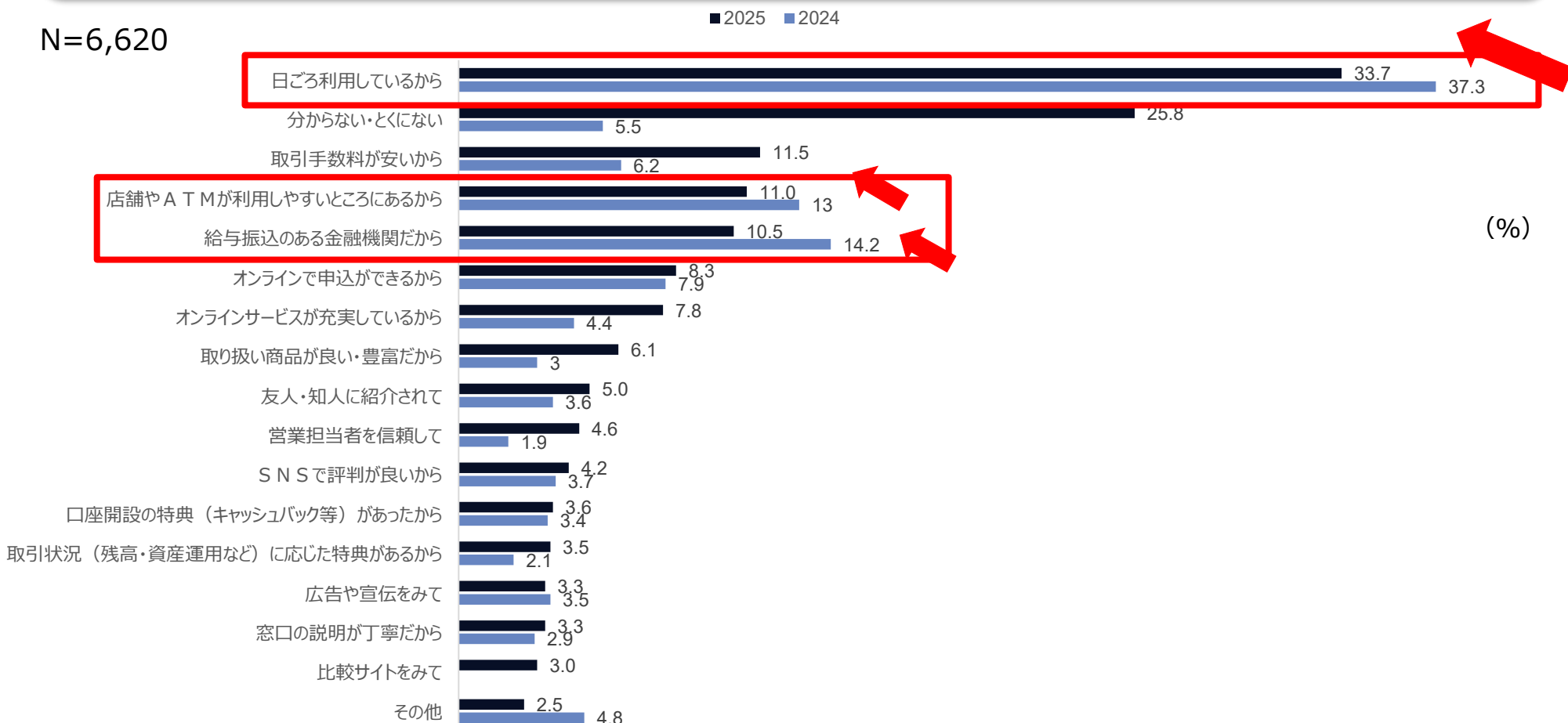
# NISA利用希望金融機関の選定理由 -Q17.

NISA未利用者

NISA投資経験なしと回答した人の内、NISAに興味があると回答した人に、NISAを利用したい金融機関の選定理由を尋ねました。

- 回答者全体では前回からスコアダウンしているものの、「日ごろ利用しているから」が33.7%でトップ。「分からない・とくにない」が増加。
- 「店舗やATMが利用しやすいところにあるから」「給与振り込みのある金融機関だから」がダウン、日ごろ利用していることや利便性が昨年よりは重視されにくくなっている傾向が見られる。

N=6,620



NISAの情報で印象に残ったもの 通常利用金融機関別 -Q18

NISA利用者+  
NISA未利用&興味あり

NISA投資経験有と未利用者の内NISA興味ありの層に、NISAについての情報で印象に残ったものを尋ねてみました。

- 回答者全体では「テレビ・ラジオ」(21.6%)が最も高く、続いて「家族・友人・知人」(21.0%)、「インターネットの情報サイト」(19.6%)の順に高い。「分からない・とくにない」も33.4%。

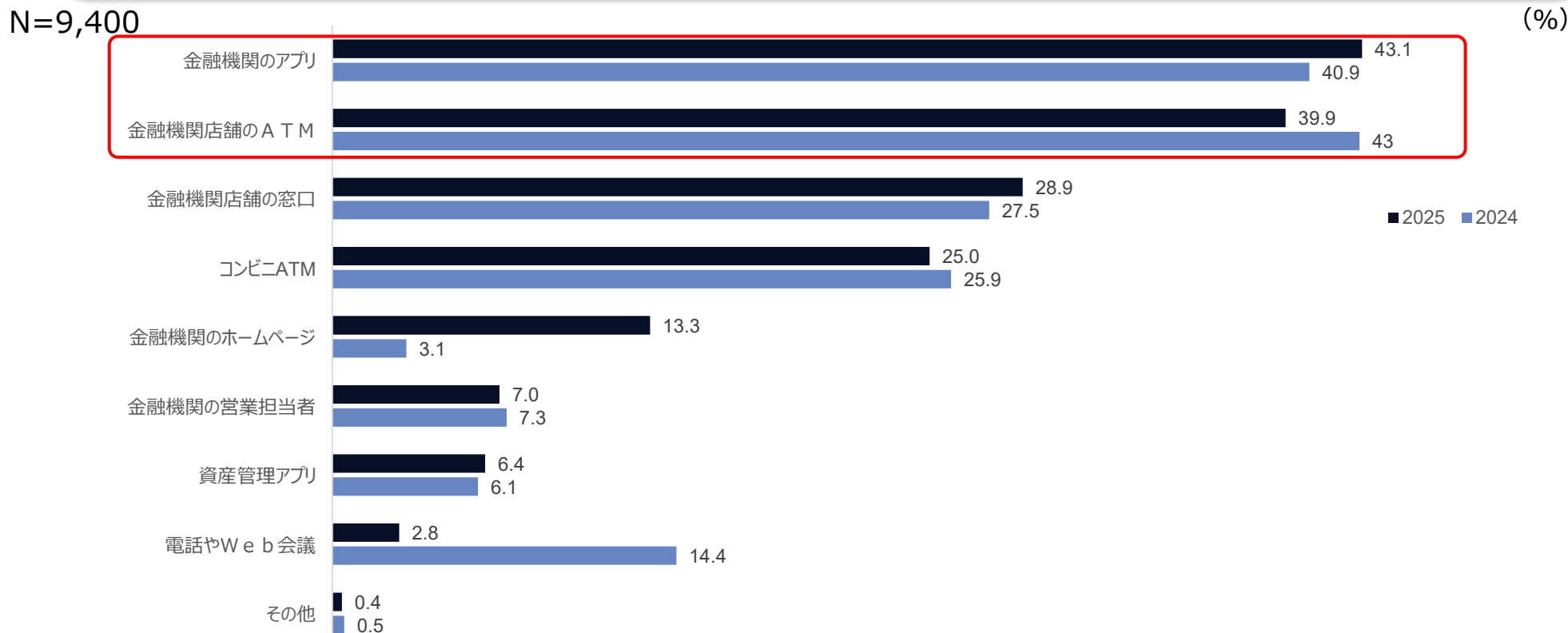
通常利用金融機関 N=6,620	テレビ・ラジオ	家族・友人・知人	インターネットの情報サイト	You Tube	金融機関の担当者	X (旧 Twitter)	金融機関のHP	Instagram	新聞・雑誌	金融業界団体のHP	その他	note	(%)
全体合計	21.6	21.0	19.6	11.4	9.4	6.6	6.1	5.9	5.9	0.9	0.6	0.4	
メガバンク	21.7	21.8	20.6	10.3	8.6	8.2	7.8	6.3	6.2	0.7	0.7	0.4	
地元の銀行	25.7	19.6	18.8	11.7	11.4	5.2	6.2	5.8	6.8	0.9	0.4	0.5	
郵便局（ゆうちょ銀行）	23.9	23.6	18.3	12.6	10.7	6.1	6.5	7.7	6.6	0.8	0.8	0.4	
地元の信用金庫・信用組合	25.7	24.2	18.9	7.7	16.7	7.2	5.5	5.9	6.6	0.8	1.0	0.1	
農協等	25.2	24.3	15.9	10.6	16.4	6.9	7.3	5.2	7.7	0.5	0.1	1.9	
証券会社（ネット証券除く）	20.4	18.4	25.8	19.3	15.0	15.5	8.9	2.3	11.6	3.5	0.0	3.1	
ネット証券、ネット銀行	14.1	19.7	30.9	19.0	5.6	8.1	7.3	7.5	6.6	1.4	0.3	0.1	

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。



すべての回答者に対して、現状、金融機関の取引で使っているチャネルを尋ねました。

- 回答者全体では「金融機関のアプリ」が43.1%で最も高く、続いて「金融機関店舗のATM」(39.9%)、「金融機関店舗の窓口」(28.9%)が高い。前回1位だった「金融機関店舗のATM」は今回スコアが下がり順位を落とす。  
前年1位だった「金融機関店舗のATM」と「金融機関のアプリ」が入れ替わる形となった。



# 金融機関の取引希望チャネル -Q23.

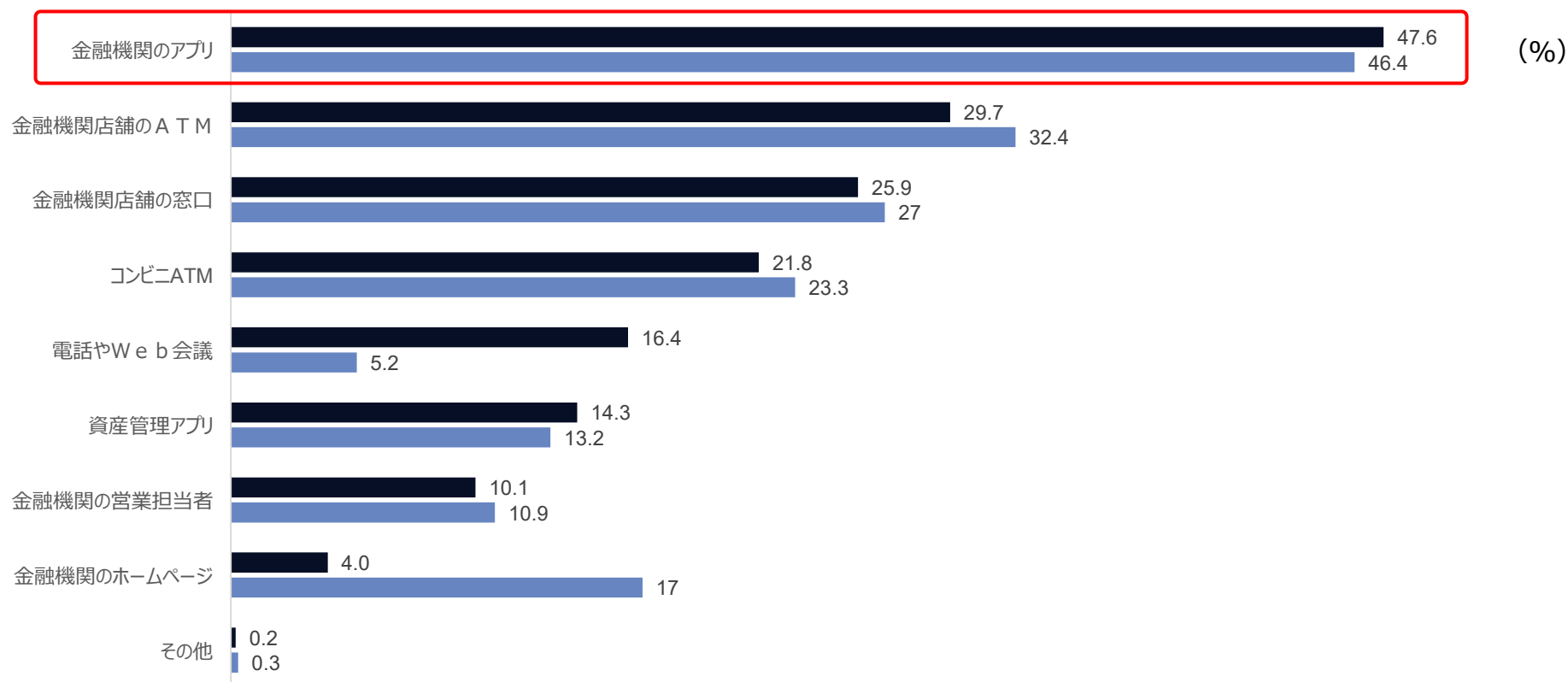
全員

すべての回答者に対して、金融機関の取引で利用したいチャネルを尋ねました。

- 回答者全体では「金融機関のアプリ」が47.6%で最も高く昨年よりも増加、続いて「金融機関店舗のATM」(29.7%)、「金融機関店舗の窓口」(25.9%)が高く、前回と同様の傾向。

N=9,400

■ 2025 ■ 2024



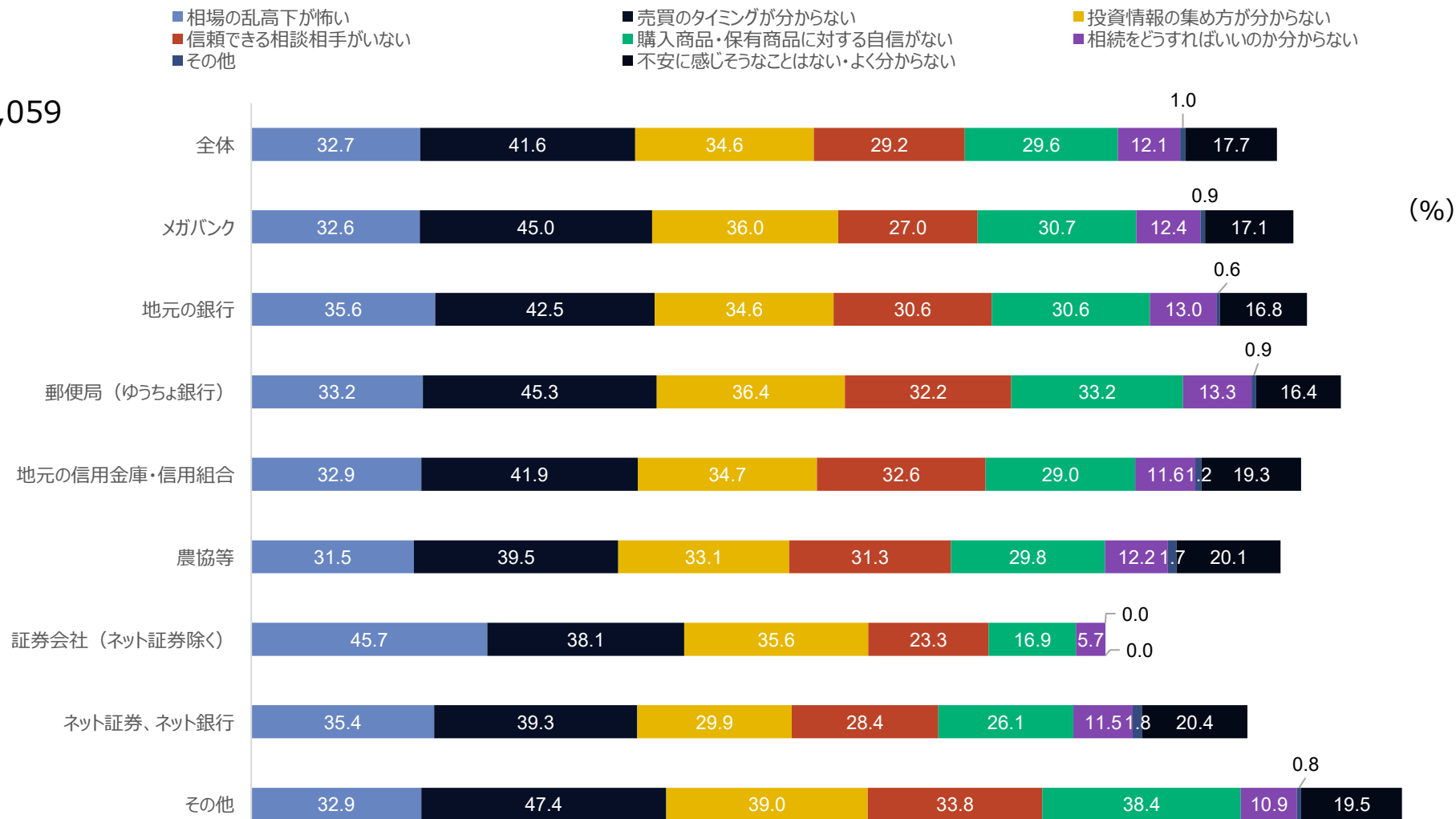
Q 2 3 金融機関と取引をする際、利用したい取引方法（チャネル）を教えてください。（MA）

# NISAを開始するとして、不安に感じそうなこと-Q19.

NISA未利用者

- 回答者全体では「売買のタイミングが分からない」が4割強で最も高い。続いて「投資情報の集め方が分からない」(34.6%)、「相場の乱高下が怖い」(32.7%)の順に高い。

N=4,059



Q19 NISA口座開設後、不安に感じそうなことはありますか。(MA)【NISAに興味がある人ベース】

不安を解消するにはどうしたらよいか(未利用者) -Q20.

- 現在もNISAを利用していない人は農協、信金、地元の銀行を中心に金融機関の担当者からのフォローを求めている。
- それに対して、ネット証券を通常利用金融機関としている人は自分での情報収集を希望しているのが見て取れる。

通常利用 金融機関 N=3,340	金融機関などの担当者からの、適切な情報提供	金融機関などの担当者にも相談できる環境	投資に関する自主的な勉強	金融機関などの担当者からの、資産運用アドバイス	金融機関などの担当者からの、保有資産に対する定期的なフォロー	勉強会・セミナーへの参加	YouTubeやメディアからの、適切な情報提供	その他 (%)
全体	34.9	34.0	32.8	31.3	30.0	20.4	17.7	0.5
メガバンク	36.3	32.1	37.4	30.9	29.9	21.0	14.9	0.4
地元の銀行	36.8	36.1	31.0	31.0	29.4	20.4	19.2	0.6
郵便局（ゆうちょ銀行）	37.9	35.6	35.4	32.5	30.7	21.3	16.9	0.7
地元の信用金庫・信用組合	39.7	40.6	27.2	37.4	39.5	24.2	14.2	1.1
農協等	37.0	44.1	29.5	39.9	33.1	17.6	15.0	0.8
証券会社（ネット証券除く）	19.4	32.8	32.2	17.7	21.4	34.0	19.0	0.0
ネット証券、ネット銀行	29.9	30.0	40.5	26.2	29.7	18.9	22.3	0.8
その他	47.5	48.0	30.1	47.8	54.3	14.9	27.2	1.0

金融経済教育経験(未利用者) -Q21.

- 回答者全体では、「学んだ経験あり・計」が24.8%で、およそ4人中3人は金融経済教育の経験がない。
- NISA利用意向別にみると、＜興味があり、初めてみたい＞層は「自分でネットや書籍、SNSなどで勉強した」(25.7%)、「友人や家族から学んだ」(16.0%)が高く、興味がある人は学び始めているのがわかる。＜あまり興味がない＞層は「金融経済教育を受ける必要性がないと思っている」(38.8%)が高い。

■ 学んだ経験あり・計    ■ 学んだ経験なし・計    (%)

24.8		75.2				
N=6,839		NISA利用意向（未利用者）				
金融経済教育の経験と方法、経験なしの理由等		興味があり 始めてみたい	興味はあるがど うするか分から ない	興味はあるが お金がない	あまり興味がない	よく分からない
金融経済教育の経験あり	自分でネットや書籍、SNSなどで勉強した	25.7	10.5	9.9	9.5	1.5
	友人や家族から学んだ	16	9.8	6.1	5.2	1.5
	職場・アルバイト先で受講する機会があった	6.6	4.6	3.9	5.4	0.4
	学校教育のなかで受けた	3.8	4.3	3.3	4.2	3.2
	金融機関のセミナーや担当者から学んだ	6.7	3.6	2.2	3.4	1
	自分で講座などを受講して勉強した	6.9	2.5	1.3	2.7	1
金融経済教育の経験なし	学びたいが何から学べばいいのかわからない	14	35.6	42.1	24.5	37.5
	金融経済教育を受ける必要性がないと思っている	5.8	4.5	15.2	38.8	45
	今後学びたいと思っている	31.9	32.4	20.8	11.7	10.3

# NISAによる資産形成の意識 通常利用金融機関別 -Q25.

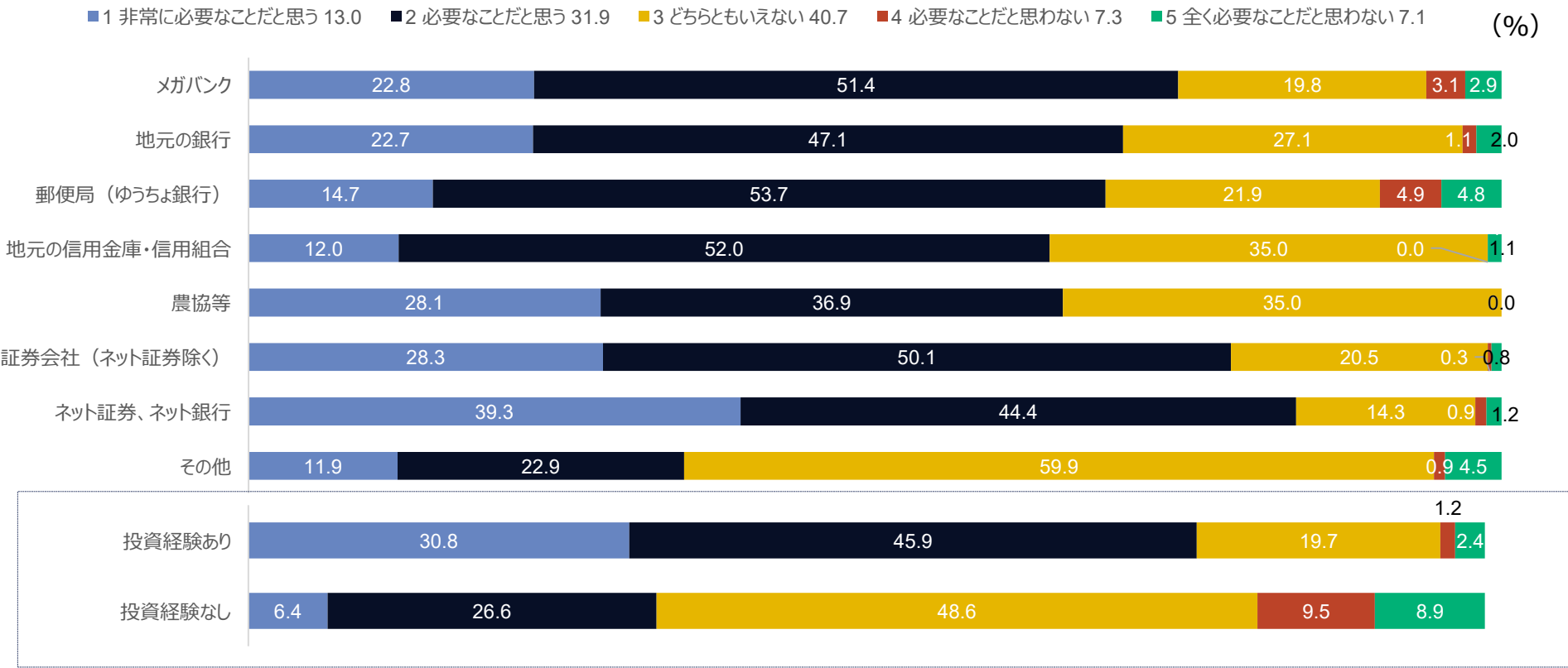
全員

NISAを利用して資産形成をすることについて、どのように思っているかを尋ねました。

NISAによる資産形成は、「必要なことだと思う・計」が44.9%で「非常に必要なことだと思う」は13.0%と、前年同様の傾向。

- NISA口座での投資経験別にみると、＜投資経験あり＞では「必要なことだと思う・計」が76.7%と、＜投資経験なし＞ (33.0%)と差を付けている。

N=9,400



# 02

## 調査項目

設問	回答区分	回答対象	設問文
<b>Facesheet</b>	<b>SA</b>	<b>全員</b>	性別
	<b>SA</b>	<b>全員</b>	年代
	<b>SA</b>	<b>全員</b>	居住地
	<b>SA</b>	<b>全員</b>	未既婚
	<b>SA</b>	<b>全員</b>	子どもの有無
	<b>SA</b>	<b>全員</b>	職業
<b>SQ1</b>	<b>MA</b>	<b>全員</b>	日ごろ、よく利用している金融機関はどこですか？
<b>SQ2</b>	<b>MA</b>	<b>全員</b>	現在、貯蓄や投資を行っていますか？ 保有している金融商品をすべて選んでください。
<b>SQ3</b>	<b>SA</b>	<b>全員</b>	資産作りの投資優遇制度「NISA（ニーサ）」を知っていますか？
<b>SQ4</b>	<b>SA</b>	<b>NISA口座有</b>	NISA口座をお持ちの方に伺います。あなたはいつNISA口座を開設しましたか？
<b>Q1</b>	<b>SA</b>	<b>NISA利用者</b>	NISAは、どこの金融機関で利用していますか？
<b>Q2</b>	<b>MA</b>	<b>NISA利用者</b>	前の質問でお答えになった金融機関を選んだ理由を教えてください。
<b>Q3</b>	<b>MA</b>	<b>NISA利用者</b>	NISA口座で保有している金融商品のうち、2024年1月以降に購入したものおよび購入予定のものを選んでください。（いくつでも）
<b>Q4</b>	<b>MA</b>	<b>NISA利用者</b>	NISAをはじめるきっかけとなったものはありますか。（いくつでも）
<b>Q5</b>	<b>MA</b>	<b>NISA利用者</b>	NISA口座開設後、不安に感じていることはありますか。（いくつでも）



設問	回答区分	回答対象	設問文
Q6	MA	NISA利用者	前問でお答えになった不安を解消するには、何があればいいと思いますか。（いくつでも）
Q7	SA	NISA利用者	NISA口座を開設している金融機関を変えたことがありますか。（ひとつだけ）
Q8	SA	NISA利用者	NISA口座を変更した人は、変更する前の金融機関を回答ください。（ひとつだけ）
Q9	MA	NISA利用者	NISA口座を変更した、もしくは変更したいと思った理由を教えてください。（いくつでも）
Q10	MA	NISA利用者	あなたの金融経済教育の経験や学習について教えてください。（いくつでも）
Q11	SA	NISA利用者	2024年8月、株式相場が大幅下落した際のNISAについての対応を教えてください。（ひとつだけ）
Q12	SA	NISA未利用者	税制面の優遇があるNISAをこれまで利用しなかった理由をひとつだけ教えてください。（ひとつだけ）
Q13	MA	NISA未利用者	以下の中で、NISAでの投資を検討するきっかけになるものはありますか。（いくつでも）
Q14	SA	NISA未利用者	2024年からNISAの制度が拡充されました。あなたのお考えを教えてください。（ひとつだけ）
Q15	MA	NISA未利用者&興味あり	NISA口座で投資するとした場合、購入してみたいと思う金融商品をお選びください。（いくつでも）
Q16	SA	NISA利用者+NISA未利用者&興味あり	今後どの金融機関でNISAを利用したいと思いますか？（ひとつだけ）

設問	回答区分	回答対象	設問文
Q17	MA	NISA利用者+ NISA未利用者& 興味あり	前の質問で、その金融機関を選んだ理由を教えてください。（いくつでも）
Q18	MA	NISA利用者+ NISA未利用者& 興味あり	以下の中で、NISAについての情報で印象に残ったものはありますか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）
Q19	MA	NISA未利用者& 興味あり	NISA口座開設後、不安に感じそうなことはありますか。（いくつでも）
Q20	MA	NISA未利用者& 興味あり	前問でお答えになった不安を解消するには、何があればいいと思いますか。（いくつでも）
Q21	MA	NISA未利用者	あなたの金融経済教育の経験や学習について教えてください。（いくつでも）
Q22	MA	全員	金融機関と取引をする際、利用している取引方法（チャネル）を教えてください。（いくつでも）
Q23	MA	全員	金融機関と取引をする際、利用したい取引方法（チャネル）を教えてください。（いくつでも）
Q24	MA	全員	投資や資産形成について金融機関に相談する場合、どのような相談方法があると便利だと思いますか。（いくつでも）
Q25	SA	全員	NISAを利用して資産形成をすることについて、どのように思いますか。（ひとつだけ）



## 調査結果の利用について

- ・本調査は、株式会社NTTデータ・エービックが実施し、著作権を保有しています。
- ・調査結果の一部を転載・引用される場合は、出所として「NTTデータ・エービック」と明記した上で、掲載日・掲載媒体・引用箇所等の情報につきましては、以下のお問い合わせ先までお知らせください。
- ・調査結果について、出所を明記せずに転載・引用を行うこと、データの一部または全部を改変することなどの行為はご遠慮ください。
- ・本アンケート調査の生データは提供いたしかねます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社NTTデータ・エービック

金融サービス推進部 セールスオフィスチーム

電話番号：03-6435-5980（代表）

受付時間 9時00分～17時00分（土・日・祝日を除く）

当社ホームページのお問い合わせフォームをご利用ください

<https://www.nttdata.abic.co.jp/>

# MEMO

---

---

---

---

---

---

---



株式会社NTTデータ・エービック